

Panasonic®

取扱説明書

デジタルカメラ/レンズキット/ボディ

品番 DMC-GX7C/DMC-GX7

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

とパソコン
との接続

その他

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(85~90ページ)を必ずお読みください。
- さらに詳しい操作説明は、本機のCD-ROM(付属)に記録された「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。(94ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



保証書別添付



VQT5A94-1
F0713MY1093

目次

準備

| | |
|---|-----------|
| ご使用の前に | 4 |
| 同梱品 | 5 |
| 各部の名前と働き | 7 |
| 準備 | 10 |
| レンズを交換する | 10 |
| ショルダーストラップを付ける | 10 |
| バッテリーを充電する | 11 |
| バッテリーを入れる・取り出す | 11 |
| カード(別売)を入れる・取り出す | 12 |
| カードをフォーマット(初期化)する | 12 |
| 時計を設定する | 13 |
| モニター/ファインダーの角度を調整する | 13 |
| ファインダー撮影について | 14 |
| メニューを使って設定する | 15 |
| メニューの設定方法 | 15 |
| よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー) | 16 |
| よく使う機能をボタンに割り当てる (ファンクションボタン) | 16 |

基本

| | |
|------------------------|-----------|
| 写真を撮る | 17 |
| 動画を撮る | 17 |
| 撮影モードを選ぶ | 18 |
| 撮影画面の表示情報を切り換える | 19 |
| 再生する | 20 |
| 写真を見る | 20 |
| 動画を見る | 21 |
| 再生画面の表示情報を切り換える | 21 |
| 画像を消去する | 22 |

撮る

| | |
|---|-----------|
| カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオートモード) | 23 |
| 背景をぼかして撮る (ボケ味コントロール) | 24 |
| 明るさや色合いを変えて撮る | 24 |
| お好みの設定で撮る (プログラム AE モード) | 25 |
| 絞り/シャッタースピードを決めて撮る | 26 |
| 絞り優先 AE モード | 26 |
| シャッター優先 AE モード | 26 |
| マニュアル露出モード | 26 |
| 絞り効果/シャッタースピード効果を確認する(プレビュー モード) | 27 |
| 撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード) | 28 |
| 画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード) | 28 |
| お好みの設定を登録して撮る (カスタムモード) | 29 |
| お好みのメニュー設定を登録する (カスタムセット登録) | 29 |
| 登録したカスタムセットで撮る | 29 |
| 効果をつけて画質を調整する (フォトスタイル) | 30 |
| 明るい/暗い部分を調整する (ハイライトシャドウ) | 32 |
| ホワイトバランスを調整する | 33 |
| 画質とサイズを設定する | 33 |
| 画像の横縦比を選ぶ | 33 |
| 記録画素数を設定する | 34 |
| 画像の圧縮率を設定する(クオリティ) | 34 |
| 自動でピントを合わせて撮る (オートフォーカス) | 35 |
| フォーカスマードについて (AFS、AFF、AFC) | 35 |
| 手動でピントを合わせて撮る (マニュアルフォーカス) | 36 |
| 露出やピントを固定して撮る (AF/AE ロック) | 37 |
| 露出を補正して撮る | 37 |
| ISO 感度を設定する | 38 |



| | |
|---|----|
| 単写 / 連写 / オートブラケット / セルフタイマーを選ぶ (ドライブモード) | 38 |
| 連写する | 39 |
| 露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット撮影) | 40 |
| セルフタイマーを使って撮る | 41 |
| 手ブレを補正する | 42 |
| レンズの手ブレ補正機能を使う | 42 |
| 本体の手ブレ補正機能を使う | 43 |
| ズームを使って撮る | 45 |
| フラッシュを使って撮る | 45 |
| フラッシュモードを切り換える | 45 |

見る

| | |
|----------------------------------|----|
| 再生方法を切り換える | 46 |
| 複数の画像を一覧表示する (マルチ再生) | 46 |
| 画像を撮影日ごとに表示する (カレンダー再生) | 46 |
| 再生機能を使う | 47 |
| 動画から写真を作成する | 47 |
| 不要な部分を消去する (クリアレタッチ) | 47 |

Wi-Fi®・NFC

| | |
|--|----|
| Wi-Fi® 機能でできること | 48 |
| スマートフォン/タブレットと つないで使う | 49 |
| スマートフォン/タブレット アプリ「Panasonic Image App」を インストールする | 49 |
| スマートフォン/タブレットと 接続する | 50 |
| スマートフォン/タブレットで 撮影する (リモート撮影) | 52 |
| カメラの画像を保存する / SNSへ送信する | 52 |
| 接続方法を変える | 54 |

パソコンとの接続

| | |
|--------------------|----|
| 付属のソフトウェアを使う | 57 |
|--------------------|----|

その他

| | |
|------------------------------------|----|
| 別売品のご紹介 | 59 |
| モニター/ファインダーの表示 | 61 |
| メッセージ表示 | 66 |
| メニュー一覧 | 67 |
| 撮影 | 67 |
| 動画 | 68 |
| カスタム | 69 |
| セットアップ | 70 |
| 再生 | 71 |
| Q&A 故障かな?と思ったら | 72 |
| 使用上のお願い | 76 |
| 無線LAN使用上のお願い | 80 |
| 仕様 | 81 |
| 保証とアフターサービス (よくお読みください) | 91 |
| さらに詳しい説明は | 94 |
| CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内 | 95 |

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。

また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

– 本機を落とす、またはぶつける

– レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特に気をつけください。
- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかること

デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

■ 露付きについて(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

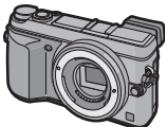
本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

同梱品

安全上の
ご注意



デジタルカメラボディ
(本文中では**本体**と表記します)

付属品をご確認ください。

記載の品番は2013年8月現在のものです。変更されることがあります。

準備

DMC-GX7C(レンズキット商品)に同梱

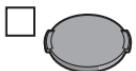


交換レンズ(H-H020A)

LUMIX G 20 mm/F1.7 II ASPH.

(本文中では**レンズ**と表記します/

お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています)



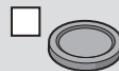
レンズキャップ*

VYF3371



レンズリアキャップ

VFC4605



ボディキャップ

VKF4971

お買い上げ時は1つにまとめられています

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

パソコン
との接続

その他

※お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

DMC-GX7(ボディ商品)に同梱



ボディキャップ

VKF4971

(お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています)

同梱品（続き）



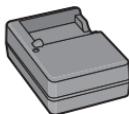
バッテリーパック
DMW-BLG10
(本文中ではバッテリーと
表記します)
●充電してからお使いください。



USB 接続ケーブル
K1HY08YY0034



バッテリーチャージャー※
DE-A99A
(本文中ではチャージャーと
表記します)



CD-ROM
●ソフトウェア
●取扱説明書 活用ガイド
(パソコンにインストールして
お使いください)



ショルダーストラップ
VFC5059



ホットシューカバー
VKE5259（ブラック）
VKE5260（シルバー）
(お買い上げ時はデジタル
カメラボディに装着されて
います)



※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー(DMW-BTC9)をお買
い求めください。

- カードは別売です。
- 別売品については59ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本書では交換レンズ(H-H020A)を用いて説明をしています。

CLUB Panasonic

Pana Sense



付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買
い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

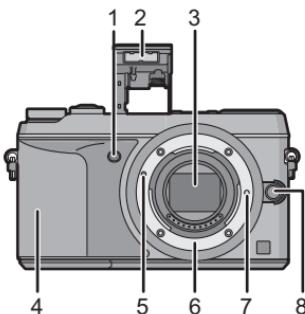
携帯電話からもお買い求めいただけます。

<http://p-mp.jp/cpm/>

各部の名前と働き

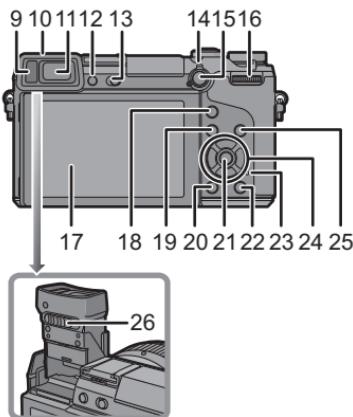
■ デジタルカメラボディ

- 1 セルフタイマーランプ / AF補助光ランプ
- 2 フラッシュ発光部
- 3 センサー
- 4 NFCアンテナ部 [図] (P51)
- 5 レンズ取り付けマーク (P10)
- 6 マウント
- 7 レンズロックピン
- 8 レンズ取り外しボタン (P10)



- 9 アイセンサー (P14)
- 10 アイカップ
- 11 ファインダー (P14)
- 12 [LVF]ボタン (P14) / [Fn4] ボタン (P16) ファンクション
- 13 フラッシュオープンレバー (P45)
- 14 フォーカスマードレバー (P35, 36) ロック
- 15 [AF/AE LOCK]ボタン (P37)
- 16 後ダイヤル
- 17 タッチパネル/モニター (P9)
タッチメニュー
- 18 [Q.MENU]ボタン (P16) / [Fn1] ボタン (P16) ファンクション
- 19 [再生] (再生) ボタン (P20)
- 20 [▲/▼] (消去/戻る) ボタン (P22) / [Fn2] ボタン (P16) メニュー セット
- 21 [MENU/SET] ボタン (P15) ワイファイ
- 22 [Wi-Fi] ボタン (P50) / [Fn3] ボタン (P16) ファンクション
- 23 Wi-Fi®接続ランプ
- 24 カーソルボタン
 - ▲(上) / ISO ボタン (P38) ホワイトバランス
 - ▶(右) / WB ボタン (P33) メニュー
 - ◀(左) / オートフォーカスマードボタン (P35) オート
 - ▼(下) / ドライブモードボタン (P38) モード
- 25 [DISP.] ボタン (P19, 21) ディスプレイ
- 26 視度調整レバー (P14)

ドライブモードボタンで以下の設定をすることができます。
単写 (P17) / 連写 / オートブラケット / セルフタイマー



安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

との接続

その他

各部の名前と働き（続き）

27 ステレオマイク

- マイクを指で塞がないようお気をつけください。
音が記録されにくくなります。

28 ホットシュー（ホットシューカバー）

29 撮影距離基準マーク

30 シャッターボタン（P17）

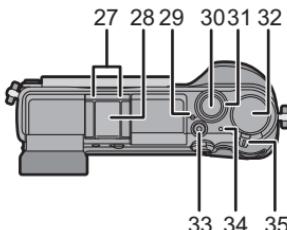
31 前ダイヤル

32 モードダイヤル（P18）

33 動画ボタン（P17）

34 電源表示ランプ（P13）

35 電源スイッチ（P13）



36 三脚取り付け部

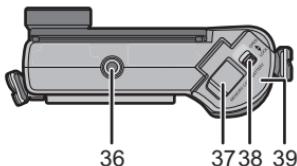
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

37 DCカプラーフィ

- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター（別売：DMW-AC8）とDCカプラーフィ（別売：DMW-DCC11）を使用してください。

38 開閉レバー

39 カード//バッテリー扉（P11、12）



40 ショルダーストラップ取り付け部（P10）

アウト デジタル

41 [AV OUT/DIGITAL] 端子

42 [HDMI] 端子

リモート

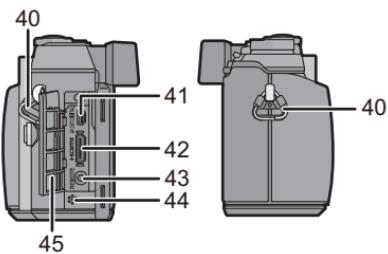
43 [REMOTE] 端子

44 スピーカー

- スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

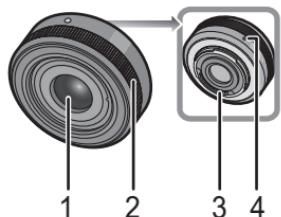
45 端子カバー

- モニターを開いてから端子カバーを開けてください。



■ 同梱レンズ

H-H020A



1 レンズ面
2 フォーカスリング(P36)
3 接点
4 レンズ取り付けマーク

■ タッチパネル

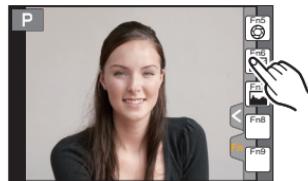
本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

項目やアイコンを選択するときなどに使います。

- 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。



■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。

AFエリアを移動したり、スライドバーを操作するときなどに使います。

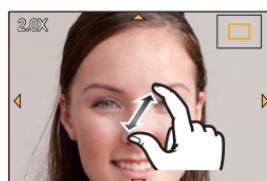
再生時は画像を送ることなどもできます。



■ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。

再生画像やAFエリアを拡大/縮小するときなどに使います。

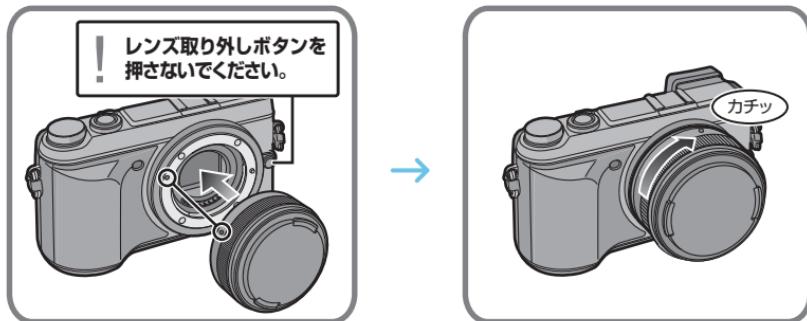


準備

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。

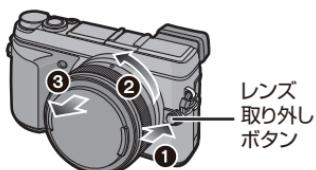
レンズを交換する

- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。



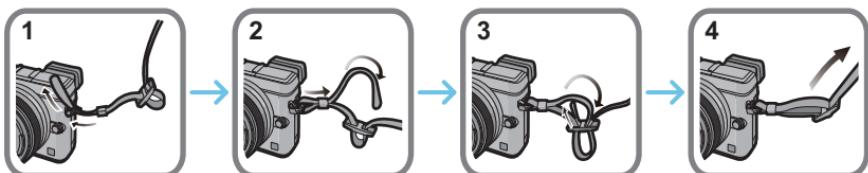
■ レンズの取り外し方

- レンズキャップを付ける
- レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



ショルダーストラップを付ける

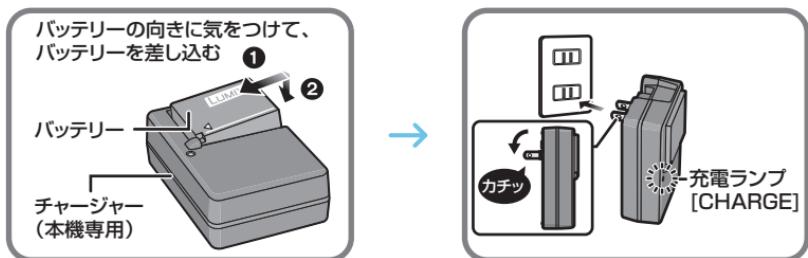
- 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。



- 手順1～4の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

バッテリーを充電する

本機で使えるバッテリーは DMW-BLG10 です。



■ 充電ランプの表示について

点灯：充電中

消灯：充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

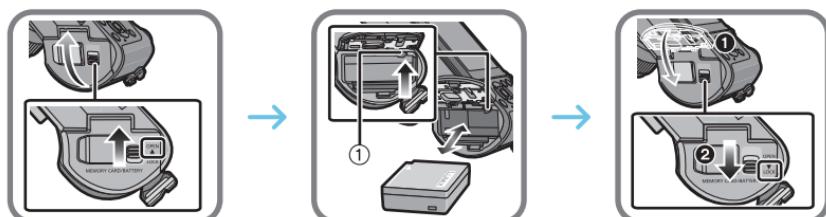
■ 充電時間について

充電時間

約 190 分

● 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

バッテリーを入れる・取り出す



● 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認してください。取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出してください。

カード(別売)を入れる・取り出す



- 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れてください。
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。

■ 本機で使用できるカードについて

SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/miniSDカード*/microSDカード*

SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/microSDHCカード*

SDXCメモリーカード(48 GB, 64 GB)

* 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■ 動画撮影とSDスピードクラスについて

動画撮影の際は、カードのラベル面などでSDスピードクラス(連続的な書き込みに関する速度規格)をご確認ください。[AVCHD]、[MP4]動画には「Class4」以上のカードを使用してください。

(例)

CLASS④

- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

セットアップメニューから[フォーマット]を選択(P15)

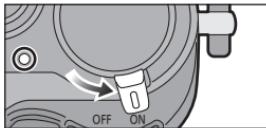
- 確認画面が表示されます。[はい]を選択すると実行されます。

時計を設定する

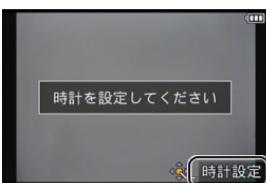
- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする

- 電源が入ると電源表示ランプが点灯します。



2 [MENU/SET] ボタンを押す



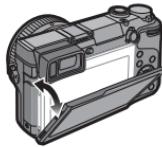
3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ ボタンで設定する

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

5 確認画面で [MENU/SET] ボタンを押す



モニター/ファインダーの角度を調整する



モニター/ファインダーの角度を調整する

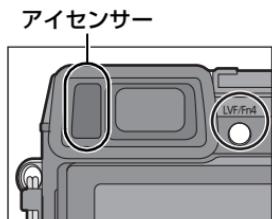
- モニター/ファインダーに指などを挟まないようにお気をつけください。
- モニター/ファインダーの角度を調整するときは、無理な力を加えないようお気をつけください。傷や故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、モニター/ファインダーを元の位置に完全に閉じてください。

- ファインダー使用時にフラッシュを使う場合は、ファインダーから目を離してから、フラッシュオープニングレバーをスライドしてください。
- 外部フラッシュ(別売)使用時は、ファインダーの調整できる角度は制限されます。
- 三脚 / 一脚の取り付け時は、モニターを元の位置に閉じた状態で取り付けてください。
- お使いの三脚 / 一脚によっては、モニターの調整できる角度が制限される場合があります。

ファインダー撮影について

■ アイセンサーでモニターとファインダーを切り換える

カスタムメニューの[アイセンサー]の[LVF/モニター自動切換]を[ON]に設定しているときには、ファインダーに目や物を近づけるとファインダー表示に自動的に切り替えます。



■ 手動でモニターとファインダーを切り換える

[LVF]ボタンを押す

- ファインダーに目や物を近づけたときのみ、ファインダーが点灯します。

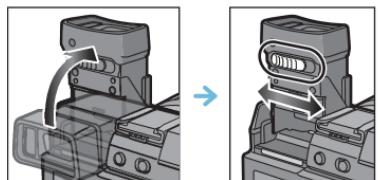
[LVF]/[Fn4]ボタンは、[LVF]と[Fn4](ファンクション4)の2つおりの使い方ができます。

お買い上げ時は、[LVF/ モニター切換]が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは 16 ページをお読みください。

■ 視度調整について

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整レバーをスライドさせて調整してください。



メニューを使って設定する

メニューの設定方法

1 [MENU/SET] ボタンを押す



| メニュー | 内容 |
|-----------------|---|
| [] 撮影(P67～) | 横縦比、画素数などを好みで設定できます。 |
| [] 動画(P68) | 記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。 |
| [] カスタム(P69～) | 画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。 |
| [] セットアップ(P70～) | 時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi機能に関する設定もできます。 |
| [] 再生(P71) | 画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。 |

2 ▲/▼ボタンでメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲/▼ボタンで設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

■ メニューを終了する

[] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

■ 他のメニューに切り換えるには

例)撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

- 1 ◀ボタンを押す
- 2 ▲/▼ボタンで[]などのメニュー切り替えアイコンを選ぶ
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す



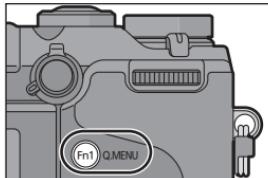
よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

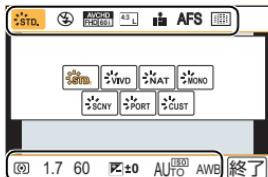
- モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

[Q.MENU]/[Fn1]ボタンは、[Q.MENU]と[Fn1](ファンクション1)の2つおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[Q.MENU]が設定されています。

- 1 [Q.MENU]ボタンを押して、クイックメニューを表示する



- 2 後ダイヤルを回してメニュー項目を選び、後ダイヤルを押す



- 3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ

- 4 設定が終了したら [Q.MENU] ボタンを押してメニューを終了する

- シャッター ボタン半押しでも終了できます。

よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)

特定のボタンやアイコンに、よく使う機能を割り当てるすることができます。

- 1 メニューを設定する

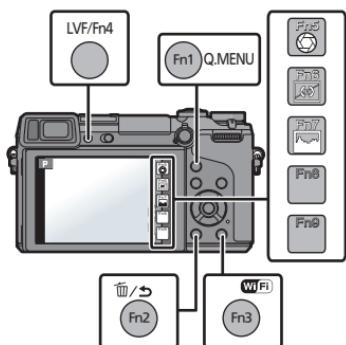
[MENU]ボタン→[カスタム]→[Fnボタン設定]

- 2 ▲/▼ボタンで [撮影時設定] または [再生時設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 3 ▲/▼ボタンで機能を割り当てるファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 4 ▲/▼ボタンで割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。



写真を撮る

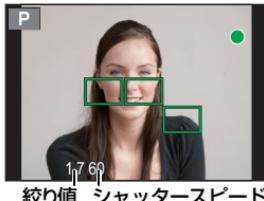
・▼(写真)ボタンを押して、ドライブモードを[□](単写)に設定する。

1 撮影モードを選ぶ(P18)

2 シャッターボタンを半押し

(軽く押す)してピントを合わせる

- ・絞り値とシャッタースピードが表示されます。
(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)
- ・お買い上げ時は、[フォーカス/レリーズ優先]が
[フォーカス]に設定されているため、ピントが合
うままで撮影できません。



3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する



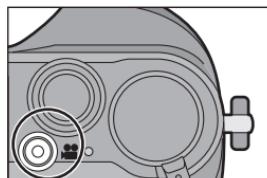
動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。
音声はステレオで記録されます。

| 項目 | フォーマット |
|---------|--------------------------------|
| [AVCHD] | ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。 |
| [MP4] | パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。 |

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- ・動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- ・約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- ・動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。



2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- ・[MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4GBまでです。
([MP4]の[FHD/60p]、[FHD/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)
- ・動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。



記録可能時間

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

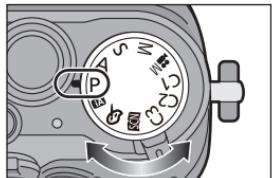
パソコン
との接続

その他

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



■ インテリジェントオートモード(P23)

カメラにおまかせで撮影します。

インテリジェントオートプラスモード (P23)

インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。

P プログラム AE モード(P25)

カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。

A 絞り優先 AE モード(P26)

絞り値を決めて撮影します。

S シャッター優先AEモード(P26)

シャッタースピードを決めて撮影します。

M マニュアル露出モード(P26)

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

■ クリエイティブ動画モード

絞り値やシャッタースピードを決めて動画を撮影します。

※写真撮影はできません。

C1 C2 C3 カスタムモード(P29)

あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

SCN シーンガイドモード(P28)

撮影シーンに合わせて撮影します。

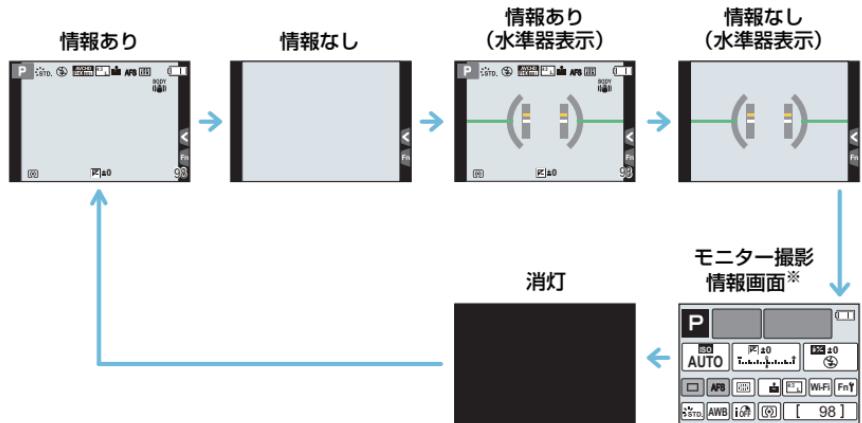
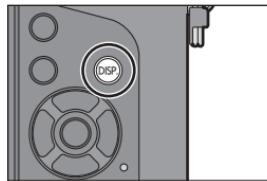
クリエイティブコントロールモード(P28)

画像効果を確認しながら撮影します。

撮影画面の表示情報を切り換える

[DISP.] ボタンを押して切り換える

- 画面は以下のように切り換わります。(モニター表示での例です)



※ カスタムメニューの[モニター撮影情報画面]を[ON]にしているときのみ表示されます。
各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

安全上の
ご注意

準備

基本

撮影

映像

Wi-Fi・NFC

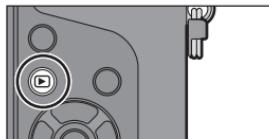
パソコン
との接続

その他

再生する

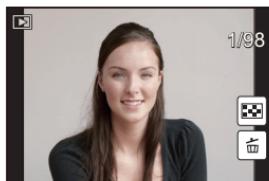
写真を見る

1 [▶] ボタンを押す



2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀:前の画像へ ▶:次の画像へ



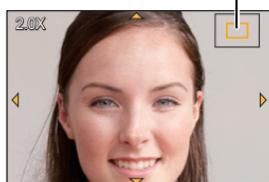
再生画面を拡大する(再生ズーム)

後ダイヤルを右側に回す

1倍 ⇄ 2倍 ⇄ 4倍 ⇄ 8倍 ⇄ 16倍

- ▲/▼/◀/▶ボタンを押す、または画面をドラッグ(P9)すると、拡大部分を移動することができます。
- 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大(2倍)することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。

ズーム位置表示



動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD、MP4 または QuickTime Motion JPEG です。

再生状態で動画アイコン([])が付いた画像を選び、▲ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。



動画記録時間

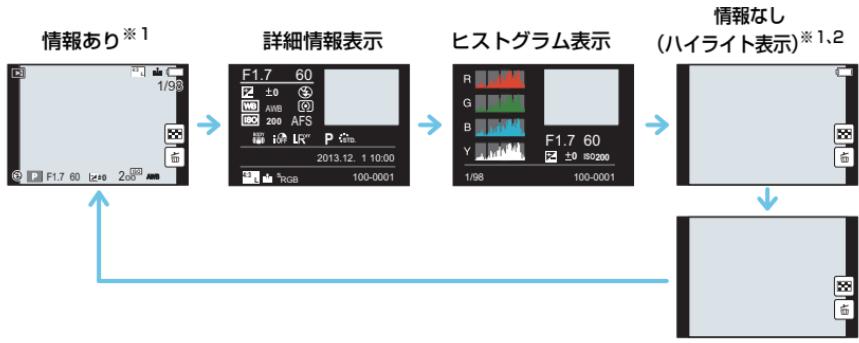
■ 動画再生中の操作

| | | | | | |
|----------------|-------|-------------|----------------|------|-------------|
| ▲ | [▶/■] | 再生/一時停止 | ▼ | [■] | 停止 |
| ◀ | [◀◀] | 早戻し再生 | ▶ | [▶▶] | 早送り再生 |
| | [◀■] | コマ戻し(一時停止中) | | [■▶] | コマ送り(一時停止中) |
| 後ダイヤル (左回し) | [－] | 音量下げる | 後ダイヤル (右回し) | [＋] | 音量上げる |

再生画面の表示情報を切り換える

[DISP.] ボタンを押して切り換える

- 画面は以下のように切り換わります。



*1 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

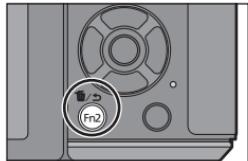
*2 カスタムメニューの[ハイライト表示]を[ON]にしているときのみ表示されます。

画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

1枚消去

- 再生状態で消去する画像を選び、
[] ボタンを押す
• [] をタッチしても同じ操作ができます。



- ▲ボタンで[1枚消去]を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す
• 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。



複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

- 再生状態で [] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで[複数消去]または[全画像消去]を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す
• [全画像消去] → 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。
• [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。
- ([複数消去]選択時)▲/▼/◀/▶ ボタンで
画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)
• 設定した画像に [] が表示されます。
もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- ([複数消去]選択時)◀ ボタンを押して
[実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
• 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。



カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード: **[IA]** **[A]**

カメラにおまかせで気軽に撮りたいときは、被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行いうんテリジェントオートプラスモードやインテリジェントオートモードをお使いください。

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードについて

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードでは、設定できる機能が異なります。(○: 設定可、×: 設定不可)

| | インテリジェントオートプラスモード | インテリジェントオートモード |
|-----------|-------------------|----------------|
| 明るさ設定 | ○ | × |
| 色合い設定 | ○ | × |
| ボケ味コントロール | ○ | ○ |

1 モードダイヤルを [**▲**] に合わせる

- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。

2 被写体に画面を合わせる

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。
- 被写体をタッチすると追尾AF機能が働きます。
◀ボタンを押し、シャッターボタンを半押ししても可能です。



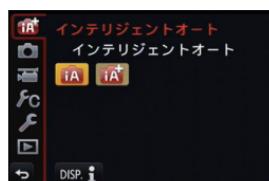
■ インテリジェントオートプラスモードと インテリジェントオートモードを切り換えるには

1 [MENU/SET] ボタンを押す

- ◀ボタンを押してから ▲/▼ボタンで [**▲**] または [**IA**] を選んでください。



2 ◀/▶ ボタンで [**IA**] または [**A**] を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す



安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

パソコン
との接続

その他

背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

撮影モード:  

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- インテリジェントオートプラスモード時は、後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。
- インテリジェントオートモード時は、後ダイヤルを押すごとに、ボケ味コントロール操作と操作の終了が切り換わります。

2 後ダイヤルを回してボケ具合を設定する

3 写真または動画を撮影する



明るさや色合いを変えて撮る

撮影モード: 

カメラが設定した明るさや色合いを、好みに調整できます。

明るさを設定する

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- 後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 後ダイヤルを回して明るさを調整する



色合いを設定する

1 ▶ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)

撮影モード: [P]

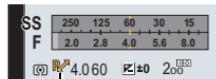
被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 シャッター ボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

3 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してプログラムシフトする

- 画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、前後のダイヤルを回してください。



プログラムシフト表示

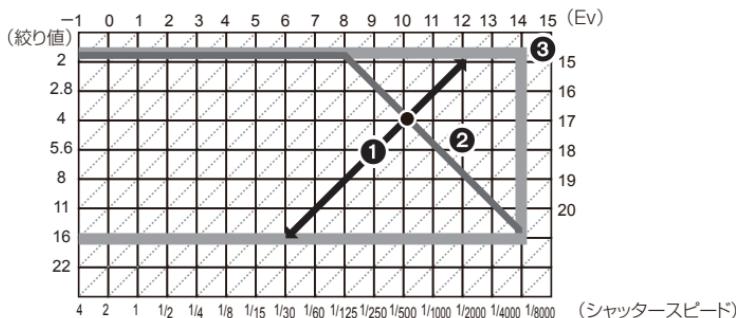
プログラムシフトについて

プログラム AE で本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。

プログラム AE での撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

<プログラムシフトの例>

交換レンズ(H-H020A)装着時



① プログラムシフト量

② プログラム線図

③ プログラムシフト限界

- EV とは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化すると EV が変化します。

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

とパソコン
の接続

その他

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード: **A** **S** **M**

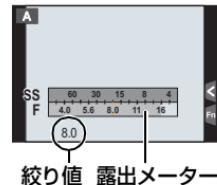
A: 絞り優先AEモード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 モードダイヤルを [A] に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して絞り値を設定する

- 設定した絞り値の効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P27)



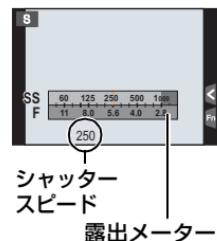
S: シャッターユリ優先AEモード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを [S] に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 設定したシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P27)



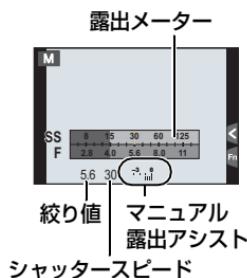
M: マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを、前ダイヤルを回して絞り値を設定する



■ マニュアル露出アシストについて

| | |
|--|--------------------------------|
| | 適正露出になります。 |
| | シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。 |
| | シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。 |

■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約120秒間)

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- [電子シャッター]を[ON]に設定時は使えません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

■ 常時プレビューについて

マニュアル露出モードでは、カスタムメニューの[常時プレビュー(Mモード)]を[ON]に設定すると、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。

- フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード:

1 ファンクションボタンに[プレビュー]を設定する(P16)

- 次の手順は、[Fn5]ボタンに[プレビュー]を設定した場合の例です。

2 [Fn5]タップをタッチする

3 [Fn5]をタッチして確認画面を切り換える

- [Fn5]をタッチするごとに画面が切り換わります。

通常撮影画面



絞り効果



シャッタースピード効果



撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

撮影モード: **[SCN]**

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

2 ◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ

- 作例写真やスライドバーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

■ シーンを選ぶ画面表示を切り換えるには

[DISP.] ボタンを押して切り換える



画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

撮影モード: **[♪]**

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを [♪] に合わせる

2 ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

■ 画像効果(フィルター)を選ぶ画面表示を切り換えるには

[DISP.] ボタンを押して切り換える



お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

撮影モード: **C1 C2 C3**

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

安全上の
ご注意

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で5つまで登録しておくことができます。(C1、C2、C3-1、C3-2、C3-3)

準備:あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→[カスタム]→[カスタムセット登録]

2 ▲/▼ボタンで登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

パソコン
との接続

その他

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

モードダイヤルを[C1]または[C2]に合わせる

- [C1]または[C2]に登録されたカスタムセットが呼び出されます。

1 モードダイヤルを[C3]に合わせる

- [C3-1]、[C3-2]または[C3-3]に登録されたカスタムセットが呼び出されます。
最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。
- カスタムセットを変更するときは、
→手順 2、3へ

2 [MENU/SET]ボタンを押して、メニューを表示する

3 ◀/▶ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

■ 設定を変更した場合は

モードダイヤルをC1、C2またはC3に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル)

使えるモード:            

撮影したいイメージに合わせて、6種類の効果を選択することができます。好みに合わせて効果の色や画質を調整することができます。

[MENU] ボタン→[撮影]→[フォトスタイル]

| 設定 | 設定内容 |
|---|-------------------------|
|  STD [スタンダード] | 標準的な設定 |
|  VIVID [ヴィヴィッド] * | 彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果 |
|  NAT [ナチュラル] * | コントラスト低めの柔らかな効果 |
|  MONO [モノクローム] | 色味を抜いた単色の効果 |
|  SCNY [風景] * | 青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果 |
|  PORT [人物] * | 健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果 |
|  CUST [カスタム] * | あらかじめ登録している設定を使用 |

* インテリジェントオートプラス()モード時は設定できません。

■ 画質調整する

- インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

1 ◀/▶ ボタンでフォトスタイルの種類を選ぶ

- シーンガイドモード時はフォトスタイルの種類を選べません。

2 ▲/▼ボタンで項目を選び、◀/▶ボタンで調整する



| 項目 | 効果 | |
|-------------|------|---|
| ●コントラスト | + | 画像の明暗差を大きくします。 |
| | - | 画像の明暗差を小さくします。 |
| ●シャープネス | + | 画像の輪郭を強調します。 |
| | - | 画像の輪郭を柔らかくします。 |
| ●彩度 | + | 派手で鮮やかな色になります。 |
| | - | 落ち着いた色になります。 |
| NRノイズリダクション | + | ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感が僅かに低下する場合があります。 |
| | - | ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。 |
| ●フィルター効果* | 黄 | 被写体のコントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。 |
| | オレンジ | 被写体のコントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。 |
| | 赤 | 被写体のコントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。 |
| | 緑 | 人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。 |
| | OFF | - |

* [モノクローム] 選択時のみ表示されます。

- 登録した内容は電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[+]が表示されます。
- [モノクローム]選択時は[彩度]で色調を変更できます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

■ 設定を [カスタム] に登録する

「画質調整する」の手順 2 で画質を調整し、[DISP.] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

明るい/暗い部分を調整する(ハイライトシャドウ)

使えるモード: **PA** **S** **M** **C1** **C2** **C3** **闪** **手**

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

1 メニューを設定する

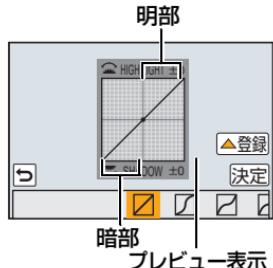
[MENU] ボタン→[撮影]→[ハイライトシャドウ]

2 ◀/▶ ボタンで設定項目を選ぶ

| 項目 | 設定内容 |
|---|--------------------|
| <input type="checkbox"/> (スタンダード) | 調整なしの状態になります。 |
| <input type="checkbox"/> (コントラストを上げる) | 明部を明るく、暗部を暗くします。 |
| <input type="checkbox"/> (コントラストを下げる) | 明部を暗く、暗部を明るくします。 |
| <input type="checkbox"/> (暗部を明るくする) | 暗部を明るくします。 |
| <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> (カスタム) | カスタム登録した内容を設定できます。 |

3 前後ダイヤルを回して、明部 / 暗部の明るさの調整をする

- 後ダイヤルは暗部の調整、前ダイヤルは明部の調整になります。
- お好みの設定を登録する場合は ▲ ボタンを押して、カスタム登録先(カスタム 1() / カスタム 2() / カスタム 3())を選んでください。
- グラフをドラッグ操作して調整することもできます。



4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 明るさ調整の画面で[DISP.]ボタンを押してプレビュー表示の画面を切り換えることができます。



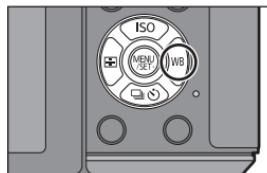
- / / に登録した設定は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- / / で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] するとお買い上げ時の設定に戻ります。

ホワイトバランスを調整する

使えるモード: **IA** **IV** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪**

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ▶(WB)ボタンを押す



2 後ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ



3 後ダイヤルを押して決定する

画質とサイズを設定する

画像の横縦比を選ぶ

使えるモード: **IA** **IV** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪**

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

[MENU] ボタン → [撮影] → [画像横縦比]

| 設定 | 設定内容 |
|--------|-----------------|
| [4:3] | 4:3テレビの横縦比 |
| [3:2] | 一般のフィルムカメラの横縦比 |
| [16:9] | ハイビジョンテレビなどの横縦比 |
| [1:1] | 正方形横縦比 |

•プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

とパソコン
との接続

その他

画質とサイズを設定する(続き)

記録画素数を設定する

使えるモード: **IA** **AT** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **手**

記録画素数を設定します。

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン→[撮影]→[記録画素数]

画像横縦比:[4:3]のとき

| 設定 | 画像サイズ |
|-----------|-----------|
| [L](16M) | 4592×3448 |
| [EXM](8M) | 3232×2424 |
| [EXS](4M) | 2272×1704 |

画像横縦比:[3:2]のとき

| 設定 | 画像サイズ |
|-------------|-----------|
| [L](14M) | 4592×3064 |
| [EXM](7M) | 3232×2160 |
| [EXS](3.5M) | 2272×1520 |

画像横縦比:[16:9]のとき

| 設定 | 画像サイズ |
|-----------|-----------|
| [L](12M) | 4592×2584 |
| [EXM](6M) | 3232×1824 |
| [EXS](2M) | 1920×1080 |

画像横縦比:[1:1]のとき

| 設定 | 画像サイズ |
|------------|-----------|
| [L](11.5M) | 3424×3424 |
| [EXM](6M) | 2416×2416 |
| [EXS](3M) | 1712×1712 |

画像の圧縮率を設定する(クオリティ)

使えるモード: **IA** **AT** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **手**

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→[撮影]→[クオリティ]

| 設定 | ファイル形式 | 設定内容 |
|--------|----------|--|
| [] | JPEG | 画質を優先したJPEG画像です。 |
| [] | | 標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。 |
| [RAW] | RAW+JPEG | RAW画像とJPEG画像([]または[])を同時に記録できます。※1 |
| [RAW] | | |
| [RAW] | RAW | RAW画像のみを記録できます。※2 |

※1 本機でRAW画像を消去すると、JPEG画像も同時に消去されます。

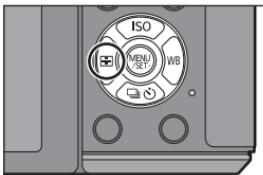
※2 各画像横縦比の最大記録画素数([L])に固定されます。

- RAWファイルの現像や編集には、CD-ROM(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。

自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)

使えるモード: **IA** **AV** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **6**
被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 フォーカスモードレバーを [AF] に合わせる



2 カスタムメニューの [AFS/AFF/AFC] を [AFS]、[AFF] または [AFC] に設定する (P35)



3 ◀(■) ボタンを押す

4 ◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

フォーカスモードについて(AFS、AFF、AFC)

使えるモード: **IA** **AV** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **6**

1 メニューを設定する

MENU ボタン→[カスタム]→[AFS/AFF/AFC]

2 ▲/▼ ボタンで設定したい項目を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

- 被写体の動き、撮影シーンに合わせて、フォーカスモードを選んでください。
- 設定した項目がフォーカスモードレバーの [AF] に割り当てられます。



AFS 静止している(風景、記念撮影など)

AFF 動きが予測できない(子ども、ペットなど)

AFC 動いている(スポーツ、鉄道など)

- 交換レンズ(H-H020A)は、[AFF]、[AFC] に設定できません。

安全上
ご注意の
事項

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

とパソコン
の接続

その他

手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)

使えるモード: **FA AF P A S M M C1 C2 C3 SCN**

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 フォーカスマードレバーを [MF] に合わせる

2 レンズのフォーカスリングやフォーカスレバーを操作して、ピントを合わせる

- 手動でピント合わせをするとアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。
- カスタムメニューの[ピーキング]を[ON]に設定時は、ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。
- カスタムメニューの[MFガイド]を[ON]に設定時は、手動でピントを合わせると画面にMFガイドが表示されます。近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。



MFアシストについて

■ MFアシストを表示する

- フォーカスリングを回す、フォーカスレバーを動かす、または画面をピンチアウト(P9)や2回タッチすると表示されます。(クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、画面のタッチによる表示ができません)
- ◀ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて[MENU/SET]ボタンを押しても表示できます。
- カスタムメニューの[ダイレクトフォーカス移動]が[ON]のときは、カーソルボタンを押すと拡大位置の設定画面になります。

■ MFアシストの表示を変更する

後ダイヤルを押すごとに、拡大表示が画面一部と画面全体に切り換わります。



- 前後ダイヤルを回すと、画面一部のときは約3倍~6倍、拡大表示が画面全体のときは約3倍~10倍に拡大 / 縮小できます。後ダイヤルで1倍ずつ、前ダイヤルで0.1倍ずつ拡大 / 縮小します。
- ピンチアウト / ピンチインしても拡大 / 縮小できます。

■ 拡大位置を移動する

- 画面をドラッグ(P9)する、またはカーソルボタンを押すと移動できます。
- 以下の操作を行うと、拡大位置は中央に戻ります。
 - 拡大位置の設定画面で[DISP.]ボタンを押したとき

■ MFアシストを終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。
- [MENU/SET]ボタンを押す、または[終了]をタッチしても終了します。
- フォーカスリングを回して、またはフォーカスレバーを動かして表示した場合は、操作をやめると約10秒後に終了します。

露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード: **IA** **AV** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪**

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

1 被写体に画面を合わせる

2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

- [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。

3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮りたい構

図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK] 設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

AE ロック表示

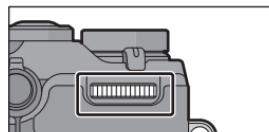


露出を補正して撮る

使えるモード: **IA** **AV** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪**

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正露出が得られないときに補正します。

1 後ダイヤルを押して露出補正操作に切り換える



2 後ダイヤルを回して露出を補正する



露出補正

露出アンダー



露出をプラス方向に補正してください。

適正露出



露出をマイナス方向に補正してください。

露出オーバー



- 露出を補正しない場合は、“±0”を選んでください。

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

パソコン
との接続

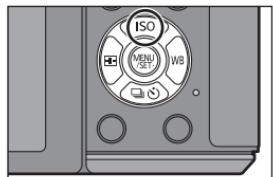
その他

ISO感度を設定する

使えるモード: **IA** **AT** **P** **A** **S** **M** **■** **C1** **C2** **C3** **■** **○**

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

- 1 ▲(ISO)ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回してISO感度を選ぶ
- 3 後ダイヤルを押して決定する

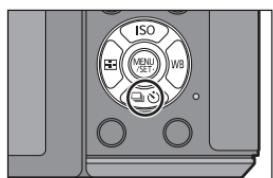
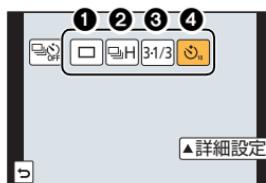


単写/連写/オートブラケット/セルフタイマーを選ぶ(ドライブモード)

使えるモード: **IA** **AT** **P** **A** **S** **M** **■** **C1** **C2** **C3** **SCN** **○**

ドライブモードを選ぶことで、連写やセルフタイマーなど、シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

- 1 ▼(□○)ボタンを押す
- 2 **◀/▶**ボタンでドライブモードを選び、
[MENU/SET]ボタンを押す



| ドライブモード | 内容 |
|------------|--|
| ① 単写 | シャッター ボタン を押すと1枚だけ撮影します。 |
| ② 連写 | シャッター ボタン を押している間、連続して撮影します。 |
| ③ オートブラケット | シャッター ボタン を押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。 |
| ④ セルフタイマー | シャッター ボタン を押すと、設定した時間後に撮影します。 |

- ドライブモードを解除する場合は、[]を選んでください。単写に切り換わります。
- ▲ボタンを押すと、それぞれのドライブモードの設定を変更できます。

連写する

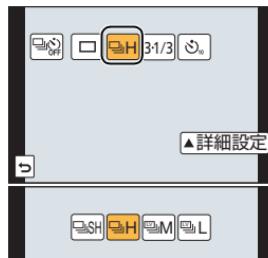
使えるモード: **FA** **AV** **P** **AS** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **手**

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

• 連写速度を [SH] で撮影した画像は、ひとつの連写グループとして記録されます。

1 ▼(□)ボタンを押す

2 ◀/▶ボタンで連写アイコン([]など)を選び、▲ボタンを押す



3 ◀/▶ボタンで連写速度を選び、
[MENU/SET]ボタンを押す

| | | [SH](超高速) ^{※1} | [H](高速) | [M](中速) | [L](低速) |
|------------|--------------|-------------------------|---------------------------|---------|---------|
| 連写速度 | 電子シャッター[ON] | 40コマ/秒 | 10コマ/秒 | 4コマ/秒 | 2コマ/秒 |
| | 電子シャッター[OFF] | | 5コマ/秒 | 4コマ/秒 | 2コマ/秒 |
| 連写中のライブビュー | | なし | なし | あり | あり |
| 連写コマ数 | RAWファイルあり | — | 9コマ ^{※2,3} | | |
| | RAWファイルなし | 最大80コマ | カードの空き容量に依存 ^{※3} | | |

※1 電子シャッターが働きます。

※2 撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。(例えば、撮影メニューの[超解像]を設定すると、連写コマ数が少なくなる場合があります)

※3 カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

4 ピントを合わせて撮影する

• シャッターを押したままにすると連続撮影されます。



■ 連写とピントについて

| フォーカスマード | フォーカス/レリーズ優先 | ピント合わせ |
|-----------------------|--------------|---------------------|
| AFS | フォーカス | 1コマ目 |
| | レリーズ | |
| AFF/AFC ^{※1} | フォーカス | 常時ピント ^{※2} |
| | レリーズ | 予測ピント ^{※3} |
| MF | — | マニュアルで設定したフォーカス |

※1 被写体が暗い場合や連写速度を [SH] に設定時は、ピントは 1 コマ目に固定されます。

※2 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

とパソコン
との接続

その他

露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)

使えるモード: **IA** **AV** **P** **A** **S** **M** **MM** **C1** **C2** **C3** **SCN** **手**

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

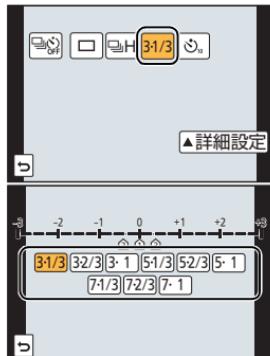
1 ▼(LCD)ボタンを押す

2 ◀/▶ボタンでオートブラケットアイコン([3:1/3]など)を選び、▲ボタンを押す

3 ◀/▶ボタンで補正幅を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にした場合は、1枚目からの撮影になります。



オートブラケット表示

■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

1 メニューを設定する

MENU ボタン→[撮影]→[オートブラケット]

2 ▲/▼ボタンで[単写/連写設定]、[補正幅]または[ブラケット順序]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
• 設定後はメニューを終了してください。

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード: **Fn** **AE** **P** **A** **S** **M** **Fn** **M** **C1** **C2** **C3** **SCN** **Fn**

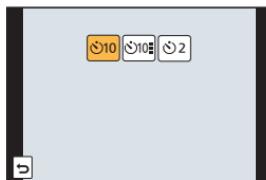
1 ▼(□)ボタンを押す

2 ◀/▶ボタンでセルフタイマーアイコン([**⌚10**]など)を選び、▲ボタンを押す



3 ◀/▶ボタンでセルフタイマーの時間を使い、[MENU/SET]ボタンを押す

| 項目 | 設定内容 |
|-------------------|--|
| ⌚ ₁₀ | 10秒後に撮影します。 |
| ⌚ ₁₀ ■ | 10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。 |
| ⌚ ₂ | 2秒後に撮影します。 ●三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。 |



4 シャッターボタンを半押しして
ピントを合わせ、全押しして撮影する



安全上の
ご注意

準備

基本

撮影

見る

Wi-Fi・NFC

パソコン
との接続

その他

手ブレを補正する

撮影時の手ブレを感じて、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

手ブレ補正是、レンズでの手ブレ補正と本体での手ブレ補正の2つおりあります。レンズと本体のどちらか一方で手ブレ補正が働きます。

■ 対応する手ブレ補正について

お使いのレンズによって、レンズでの手ブレ補正または本体での手ブレ補正が働きます。

| お使いのレンズ | 手ブレ補正機能 | |
|---|--|----------------------------|
| マイクロフォーサーズマウント規格のレンズ | 手ブレ補正機能に対応 | レンズでの手ブレ補正機能のみ働きます。 P42 |
| | 手ブレ補正機能に非対応 ● 交換レンズ(H-H020A)は、手ブレ補正機能に対応していません。 | 本体での手ブレ補正機能のみ働きます。 P43 |
| フォーサーズマウント規格のレンズ ● マウントアダプター(別売: DMW-MA1)をお使いください。 | 手ブレ補正機能に対応 | レンズでの手ブレ補正機能のみ働きます。 P42 |
| | 手ブレ補正機能に非対応 | 本体での手ブレ補正機能のみ働きます。 P43 |
| ライカマウント規格のレンズ ● ライカレンズ用マウントアダプター(別売: DMW-MA2M、DMW-MA3R)をお使いください。 | 本体での手ブレ補正機能のみ働きます。 P43 | |
| 上記以外で本機に装着可能なレンズ | 本体での手ブレ補正機能のみ働きます。 | P43 |

レンズの手ブレ補正機能を使う

使えるモード:

マイクロフォーサーズ規格 / フォーサーズ規格に準拠し、手ブレ補正機能に対応したレンズが必要です。(P42)

1 メニューを設定する

ボタン→[撮影]→[手ブレ補正]→[動作設定]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

| 項目 | 設定内容 |
|-------------|--|
| LENS (通常) | 上下左右の動きに対する手ブレを補正します。 |
| LENS (流し撮り) | 上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。 |
| OFF | 手ブレ補正是働きません。(O.I.S.スイッチのないレンズをご使用の場合のみ選択できます) |

- 設定後はメニューを終了してください。

●O.I.S.スイッチのある別売の交換レンズをご使用の場合は、レンズのO.I.S.スイッチを[ON]にすることで手ブレ補正機能が働くように設定することができます。(お買い上げ時は[LENS]に設定されています)

本体の手ブレ補正機能を使う

使えるモード :            

手ブレ補正機能に非対応のレンズやマイクロフォーサーズ規格/フォーサーズ規格に準拠していないレンズをお使いの場合などに、本体での手ブレ補正が使えます。(P42)

- 本体での手ブレ補正是写真撮影時のみ働きます。

マイクロフォーサーズ規格/フォーサーズ規格に準拠していないレンズをお使いの場合は、以下の設定をしてください。

- [レンズ無しレリーズ]を[ON]に設定する(P70)
- [焦点距離設定]でお使いのレンズの焦点距離を設定する(P44)
 - マクロフォーサーズ規格/フォーサーズ規格に準拠していないレンズを装着時に電源スイッチを[ON]にすると、本体の手ブレ補正が使える場合は焦点距離設定の確認メッセージが表示されます。「はい」を選ぶと、「手ブレ補正」の[焦点距離設定]が設定できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→[撮影]→[手ブレ補正]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

| 項目 | 設定内容 |
|---------|--|
| 動作設定 | BODY (通常) 上下左右の動きに対する手ブレを補正します。 |
| | BODY (流し撮り) 上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。 |
| | OFF 手ブレ補正是働きません。 |
| 焦点距離設定* | お使いのレンズの焦点距離の設定や登録をします。 |

*マイクロフォーサーズ規格/フォーサーズ規格に準拠していないレンズをお使いの場合のみ設定できます。

- 設定後はメニューを終了してください。

■レンズの焦点距離を設定する

- マイクロフォーサーズ規格/フォーサーズ規格のレンズをお使いの場合、焦点距離設定は自動で設定されます。
- 本体と通信機能のない、一部のマイクロフォーサーズ規格/フォーサーズ規格のレンズをお使いの場合は、レンズの焦点距離を設定してください。

準備：[レンズ無しレリーズ]を[ON]に設定する（P70）

1 メニューを設定する

[MENU]ボタン→[撮影]→[手ブレ補正]

2 ▲/▼ボタンで[焦点距離設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ◀/▶ボタンでお使いのレンズの焦点距離を選び

- 焦点距離は8 mm～1000 mmまで設定できます。
- 設定する焦点距離は、お使いのレンズ本体などに記載されている焦点距離で設定してください。
- お使いのレンズの焦点距離の設定値がない場合は、お使いのレンズの焦点距離に近い設定値を選んでください。
- お使いのレンズがズームレンズの場合は、撮影時の焦点距離に合わせて設定値を選んでください。



4 [MENU/SET]ボタンを押す

■焦点距離を登録する

1 「レンズの焦点距離を設定する」の手順 3を行う

2 ▼ボタンを押す

3 ◀/▶ボタンで上書き登録する焦点距離を選び、[DISP.]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選択すると実行されます。
- 焦点距離の設定は3つまで登録できます。
- 設定後はメニューを終了してください。



■登録済みの焦点距離から設定する

1 「レンズの焦点距離を設定する」の手順 3の画面で▼ボタンを押す

2 ◀/▶ボタンで登録済みの焦点距離を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

ズームを使って撮る

使えるモード: **FA** **AV** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **○**

■ ズームの種類と撮影倍率

| 種類 | 光学ズーム | EXテレコン(EX) (P68) | デジタルズーム(P68) |
|------|-------------------|---|----------------------------|
| 撮影倍率 | 使用するレンズによって異なります。 | 写真時: 最大 2倍 ^{※1} 動画時: 2.4倍 ^{※2} | 2倍([2×]選択時) 4倍([4×]選択時) |
| 画質 | 劣化しない | 劣化しない | 拡大するほど劣化する |

※1 記録画素数[S](4 M)、画像横縦比[4:3]選択時。記録画素数や画像横縦比により変わります。

※2 画質設定[FHD/60p]、[FHD/60i]、[FHD/30p]、[FHD/24p]選択時。

フラッシュを使って撮る

使えるモード: **FA** **AV** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **○**

■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる

内蔵フラッシュを開くと、フラッシュ撮影が可能になります。

Ⓐ 開くとき

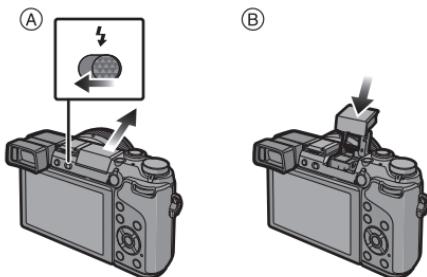
フラッシュオープンレバーをスライドさせる

Ⓑ 閉じるとき

フラッシュをカチッと音がするまで押す

• 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。

• フラッシュを閉じているときは、[④]に固定されます。



フラッシュモードを切り換える

使えるモード: **FA** **AV** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **○**

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定できます。

• フラッシュを開いてください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→[撮影]→[フラッシュ設定]

2 ▲/▼ボタンで[フラッシュモード]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

とパソコン
の接続

その他

再生方法を切り換える

複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

後ダイヤルを左側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー画面表示

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。

- []: 1画面
- []: 12画面
- []: 30画面
- []: カレンダー再生

- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。



画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

- 後ダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする
- ▲/▼/◀/▶ボタンで再生する日付を選ぶ
 - 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。
- [MENU/SET]ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する
- ▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



再生機能を使う

撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロジェクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

動画から写真を作成する

撮影した動画から、1枚の写真を作成できます。

1 動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止にする

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [] をタッチしても同じ操作ができます。
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。



不要な部分を消去する(クリアレタッチ)

撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。

• 消去操作はタッチでのみ行えます。[クリアレタッチ]では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→[再生]→[クリアレタッチ]

2 ▲/▶ボタンで写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 消去したい部分をなぞる

- 消去される部分に色が付きます。
- [1つ戻す]をタッチすると、色が付いた部分が1つ前の状態に戻ります。



4 [決定]をタッチする

- プレビュー画面が表示されます。

5 [保存]をタッチする、または[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

との接続

その他

Wi-Fi® 機能でできること

できること

スマートフォンとつないで使う



スマートフォンで撮影する

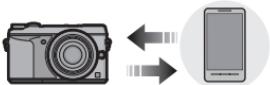
カメラの画像を保存する

画像をSNSへ送信する



かんたん接続、かんたん転送

[Wi-Fi]ボタンを長めに押したり、NFC機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。画像の転送も簡単にできます。



テレビに写真を映す



プリンターに画像を送る



AV 機器に画像を送る

写真や動画を家の中にあるAV機器(室内AV機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人のAV機器(室外AV機器)にも、LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで送れます。



パソコンに画像を送る



Web サービスを利用する

LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信できます。

- さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

スマートフォン/タブレットを使って、離れた場所からカメラを操作できます。

お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。



スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

| | Android™ 向けアプリ | iOS 向けアプリ |
|----------|---|--|
| 対応 OS | Android 2.2 ~ Android 4.2* | iOS 5.0 ~ iOS 6.1 |
| インストール手順 | <ol style="list-style-type: none">1 Android 端末をネットワークに接続する2 「Google Play™ ストア」を選ぶ3 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする <p>•メニューにアイコンが追加されます。</p>  | <ol style="list-style-type: none">1 iOS端末をネットワークに接続する2 「App Store™」を選ぶ3 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする <p>•メニューにアイコンが追加されます。</p>  |

- 最新のバージョンをお使いください。
- お使いのスマートフォン/タブレットによっては、正しく動作しない場合があります。
Image App の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 3G等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- ※ [Wi-Fi Direct] で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™に対応している必要があります。

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

とパソコン
の接続

その他

スマートフォン/タブレットと接続する

[Wi-Fi]ボタンを長めに押したり、NFC機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。

準備:

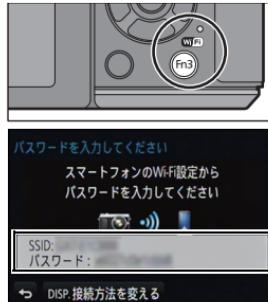
- 「Image App」をインストールしておく(P49)

1 [Wi-Fi] ボタンを長めに押す

- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報(SSID、パスワード)が表示されます。
- 初めての接続以外では、前に接続したときの画面が表示されます。
- 以下のメニューを選ぶことで、同じ画面を表示できます。

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→
[スマートフォンとつないで使う]

- 接続方法を切り替えたい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。接続方法について詳しくは54ページの「接続方法を変える」をお読みください。



2 スマートフォン/タブレットを操作する

- Wi-Fi機能をONにする
- 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
- 「Image App」を起動する(P49)
 - 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の画像が表示されます。

NFC機能を使って、スマートフォン/タブレットと接続する

NFC(Near Field Communication:近距離無線通信)機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間でWi-Fi接続に必要な情報を簡単に受け渡すことができます。

■ 対応機種について

本機能は、Android(OSバージョン2.3.3以上)で、おサイフケータイ®FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。(一部機種を除く)

●初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。

準備:

(カメラ側)

- セットアップメニューから[Wi-Fi]→[Wi-Fi設定]→[NFC動作]を選び、[ON]に設定する

(スマートフォン/タブレット側)

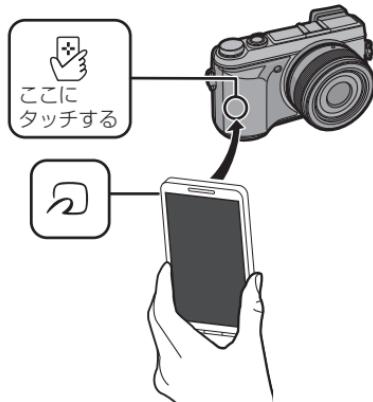
- スマートフォン/タブレットが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi機能をONにする
- 「Image App」をインストールしておく(P49)

1 お使いのスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する

2 「Image App」の接続画面に[]が表示

されている状態で、本機の[]にスマートフォン/タブレットの[]をタッチする

- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の映像が表示されます。
- タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順1の画面を表示してください。
- 1枚再生時に接続すると、スマートフォン/タブレットに画像が転送されます。(P53)



初めて接続する場合、接続確認画面が表示されます

- 1 本機に接続確認画面が表示されたら [はい] を選ぶ
- 2 再度、本機の[]にスマートフォン/タブレットの[]をタッチする

●接続されたスマートフォン/タブレットは本機に登録されます。

スマートフォン/タブレットで撮影する（リモート撮影）

1 スマートフォン/タブレットと接続する（P50）

2 スマートフォン/タブレットの[]を選ぶ

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 動画も撮影できます。
- 設定など一部利用できないものがあります。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。



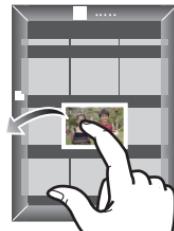
カメラの画像を保存する/SNSへ送信する

1 スマートフォン/タブレットと接続する（P50）

2 スマートフォン/タブレットの[]を選ぶ

3 画像をドラッグする

- 保存されたり、SNSなどに送信されたりします。
- 好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。
- 画像をタッチした場合は、画像が大きく再生されます。



カメラの画像を簡単に転送する

スマートフォン/タブレットを本機にタッチすることで、NFC機能を使ってWi-Fi接続ができ、表示中の画像を簡単に転送することができます。撮ったその場で画像を転送できるので、ご家族やご友人のスマートフォン/タブレット※にも簡単に転送できます。

※ご利用には、「Image App」をインストールする必要があります。

準備:

(カメラ側)

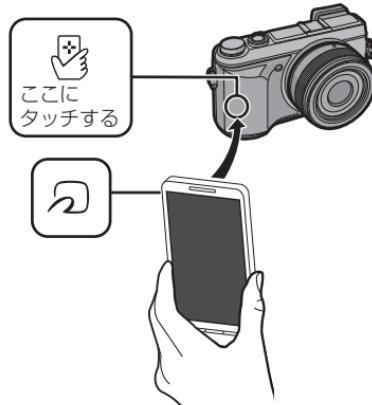
- セットアップメニューから[Wi-Fi]→[Wi-Fi設定]→[NFC動作]を選び、[ON]に設定する
- セットアップメニューから[Wi-Fi]→[Wi-Fi設定]→[タッチシェアリング]を選び、[ON]に設定する

(スマートフォン/タブレット側)

- スマートフォン/タブレットが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi機能をONにする
- 「Image App」をインストールしておく(P49)

- スマートフォン/タブレットに転送したい画像を本機で再生する
- 転送先のスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する
- 「Image App」の接続画面に[]が表示されている状態で、本機の[]にスマートフォン/タブレットの[]をタッチする

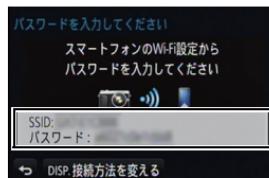
- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順2の画面を表示してください。
- 一括で転送することはできません。



- 使用環境によっては、画像の転送完了までに数分かかる場合があります。

接続方法を変える

接続方法を切り換える場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。

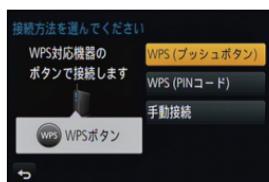


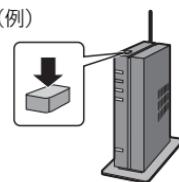
| 接続方法 | 設定内容 | |
|------------|-------------------------------|-----|
| [ネットワーク経由] | 無線アクセスポイントを経由して接続します。 | 下記 |
| [直接接続] | お使いのスマートフォン/タブレットが本機に直接接続します。 | P56 |

ネットワーク経由

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。



| 接続方法 | 設定内容 |
|-----------------|---|
| [WPS (プッシュボタン)] | <p>WPSマークがあり、プッシュボタン方式Wi-Fi Protected SetupTM対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <p>無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。 <p>(例)</p>  |
| [WPS (PINコード)] | <p>WPSマークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 接続する無線アクセスポイントを選ぶ 本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する [MENU/SET]ボタンを押す <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。 |
| [手動接続] | <p>WPSに対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは55ページをお読みください。 |

■ WPSに対応しているかわからない場合 ([手動接続]で接続する)

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力]で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ

- [DISP.]ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力]で接続する場合」をお読みください。



2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)暗号化キーを入力する

■ [マニュアル入力]で接続する場合

- 「WPSに対応しているかわからない場合 ([手動接続]で接続する)」の手順1の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ
- 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ
- ネットワークの認証方式を選ぶ
 - ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。
- 暗号化方式を選ぶ
 - ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

| ネットワーク認証方式 | 設定できる暗号化方式 |
|----------------------|---------------|
| [WPA2-PSK]/[WPA-PSK] | [TKIP]/[AES] |
| [共通キー] | [WEP] |
| [オープン] | [暗号化なし]/[WEP] |

5 ([暗号化なし]以外選択時)暗号化キーを入力する

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

直接接続

お使いのスマートフォン/タブレットとの接続方法を選択できます。

お使いのスマートフォン/タブレットが対応している接続方法を選んでください。



| 接続方法 | 設定内容 |
|----------------|--|
| [Wi-Fi Direct] | <p>1 スマートフォン/タブレットを Wi-Fi Direct™ モードにする</p> <p>2 [Wi-Fi Direct] を選ぶ</p> <p>3 接続するスマートフォン/タブレットを選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、お使いのスマートフォン/タブレットの取扱説明書をお読みください。 |
| [WPS 接続] | <p>[WPS (プッシュボタン)]</p> <p>1 [WPS (プッシュボタン)] を選ぶ</p> <p>2 スマートフォン/タブレットを WPS モードにする</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機の[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。 <p>[WPS (PIN コード)]</p> <p>1 [WPS (PIN コード)] を選ぶ</p> <p>2 スマートフォン/タブレットの PIN コードを本機に入力する</p> |
| [手動接続] | <p>スマートフォン/タブレットとの接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードをスマートフォン/タブレットに入力する</p> |

付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.2 PE (Windows XP/Vista/7/8)

写真や動画を取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVDへの画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

SILKYPIX Developer Studio

(Windows XP/Vista/7/8、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7/v10.8)

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。

SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーサポートサイト

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/>
をご覧ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版(Windows XP/Vista/7/8)

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

•インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。

使い方 Web サイト:<http://loilo.tv/product/20>

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

とパソコン
の接続

その他

付属のソフトウェアを使う（続き）

■ ソフトウェアをインストールする

- CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

- 「PHOTOfunSTUDIO 9.2 PE」の動作環境

| | | |
|---------|---|----------------------------------|
| 対応OS | Windows® XP(32 bit) SP3 Windows Vista®(32 bit) SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit) および SP1 Windows® 8(32 bit/64 bit) | |
| CPU | Windows® XP | Pentium® III 500 MHz以上 |
| | Windows Vista® | Pentium® III 800 MHz以上 |
| | Windows® 7 | Pentium® III 1 GHz以上 |
| | Windows® 8 | |
| ディスプレイ | 1024×768以上(1920×1080以上を推奨) | |
| 搭載メモリ | Windows® XP | 512 MB以上 |
| | Windows Vista® | 1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit) |
| | Windows® 7 | |
| | Windows® 8 | |
| ハードディスク | インストールに450 MB以上の空き容量 | |

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

- 「SILKYPIX Developer Studio 3.1 SE」の動作環境は、57 ページのサポートサイトをお読みください。

2 CD-ROMを入れる

- インストールメニューが起動します。

3 [アプリケーション]をクリックする

4 [おまかせインストール]をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

- お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
- Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。

- ① CD-ROM を入れる
- ② CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
- ③ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
- ④ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

④ こんなときは使えません

- 「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」は Mac では使えません。

別売品のご紹介

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

とパソコン
の接続

その他

| 品名 | 品番 |
|-----------------------------|---|
| バッテリーパック | DMW-BLG10 |
| バッテリーチャージャー ^{※1} | DMW-BTC9 |
| ACアダプター ^{※2} | DMW-AC8 |
| DCカプラ ^{※2} | DMW-DCC11 |
| フラッシュライト | DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL360L、 DMW-FL500 |
| シャッターリモコン | DMW-RSL1 |
| アイカップ | DMW-EC1 |
| MCプロテクター | DMW-LMC46 ^{※3} |
| NDフィルター | DMW-LND46 ^{※3} |
| PLフィルター(サーキュラータイプ) | DMW-LPL46 ^{※3} |
| レンズキャップ | DMW-LFC46 ^{※3} |
| レンズリアキャップ | DMW-LRC1 |
| ボディキャップ | DMW-BDC1 |
| 三脚アダプター ^{※4} | DMW-TA1 |
| ソフトバッグ | DMW-BAG1、DMW-BAG2、DMW-BALA1、DMW-CZ18 |
| 本革バッグ | DMW-BAL1 |
| ソフトケース | DMW-CG1、DMW-CG2、DMW-CG4、DMW-CG5 |
| 本革ボディケース | DMW-CGBX7 |
| ショルダーストラップ | DMW-SSTL1、DMW-SSTG1、DMW-SSTG2、 DMW-SSTG3、DMW-SSTG5 |
| ロングショルダーストラップ ^{※5} | DMW-SSTG6、DMW-SSTG7、DMW-SSTG8、 DMW-STL1 |

※1 海外用変換プラグ(Cタイプ)付き

※2 DCカプラ^ーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

※3 交換レンズ(H-H020A)装着時

※4 取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。

※5 斜め掛けに適したロングタイプのショルダーストラップです。

別売品のご紹介（続き）

| 品名 | 品番 |
|------------------|--|
| USB接続ケーブル | DMW-USBC1 |
| AV ケーブル | DMW-AVC1 |
| HDMIミニケーブル | RP-CHEM15A、RP-CHEM20A、RP-CHEM30A |
| 交換レンズ | ·H-PS45175 ·H-PS14042 ·H-VS014140 ·H-FS14140 ·H-HS35100 ·H-HS12035 ·H-FS45150 ·H-FS100300 ·H-FS045200 ·H-FS1442A ·H-FS014045 ·H-F007014 ·H-F008 ·H-ES045 ·H-X025 ·H-H020A ·H-H020 ·H-H014 |
| 3D交換レンズ | H-FT012 |
| マウントアダプター | DMW-MA1(フォーサーズマウント用) |
| ライカレンズ用マウントアダプター | DMW-MA2M(ライカMマウント用) DMW-MA3R(ライカRマウント用) |

●別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。

記載の品番は2013年8月現在のものです。変更されることがあります。

CLUB Panasonic

Pana Sense



別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買
い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

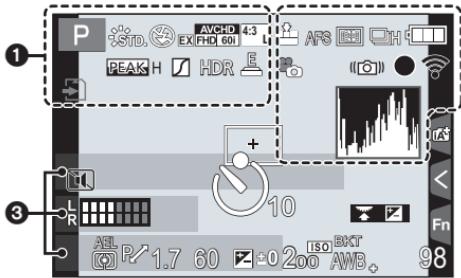
携帯電話からもお買い求めいただけます。
<http://p-mp.jp/cpm/>

モニター/ファインダーの表示

モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

・画面はモニターで表示画面を [■■■] (モニタースタイル) に設定時の例です。

■ 撮影時



| 撮影モード | |
|---|-----------------------|
|  | 撮影モード |
| C 1 | カスタムセット |
|  | フォトスタイル |
|  | クリエイティブコントロール 調整表示 |
|  | フラッシュモード |
|  | フラッシュ設定 |
|  | EXテレコン(動画時) |
|  | 記録方式/画質設定 |
|  | 記録画素数/画像横縦比 |
|  | EXテレコン(写真時) |
|  | カード(記録時のみ表示) |
| XXhXXmXXs | 記録経過時間※1 |
|  | 同時記録表示 |
| PEAK H/PEAK L | ピーキング |
|  | ハイライトシャドウ |
| HDR | HDR |
|  | 多重露出 |
|  | デジタルズーム |
|  | 電子シャッター |
|  | 温度上昇表示 |
| 名前※2 | |
| トライアル経過日数※3 | |
| 月齢/年齢※2 | |
| 旅行先※3 | |
| 現在日時/旅行先設定※3:  | |

安全上の
ご注意の

準備

基本

撮る

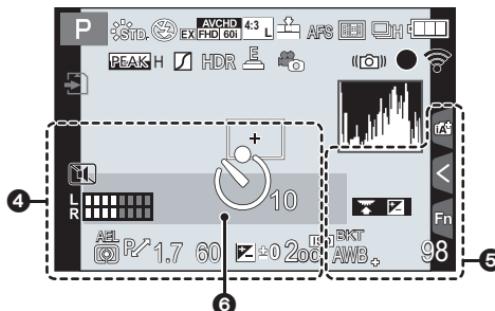
見る

Wi-Fi・NFC

パソコン
との接続

その他

モニター/ファインダーの表示（続き）



| | |
|---|-----------------------|
| 4 | |
|  | AFエリア |
| + | スポット測光ターゲット |
|  10  2 | セルフタイマー ^{※4} |
|  | マイクレベル表示 |
|  | サイレントモード |
| AEL | AEロック |
|    | 測光モード |
|  | プログラムシフト |
| 1.7 | 絞り値 |
| 60 | シャッタースピード |
| | 露出補正値 |
|  ±0 | 明るさ |
| | マニュアル露出アシスト |
|  200 | ISO感度 |

| | |
|---|------------------------|
|  | ダイヤル操作ガイド |
| BKT | ホワイトバランスプラケット |
| AWB + | ホワイトバランス微調整 |
|   | ホワイトバランス |
|   | 色合い |
| 98 | 記録可能枚数 ^{※5} |
| 残XXmXXs | 記録可能時間 ^{※1.5} |
|  | タッチタブ ^{※6} |
|  | タッチタブ ^{※6} |
|  | タッチタブ ^{※6} |
|  | タッチタブ ^{※6} |
|  | タッチタブ ^{※6} |
|  | タッチタブ ^{※6} |
|  | タッチタブ ^{※6} |

⑥ 露出メーター
焦点距離表示
ステップズーム

※1 h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。

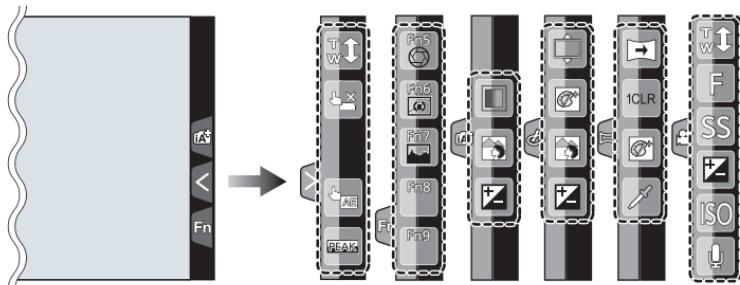
※2 [プロフィール設定]を設定時、電源を入れた場合に約5秒間表示されます。

※3 電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

※4 カウントダウン中に表示されます。

※5 カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

※6 ドニターにのみ表示されます。



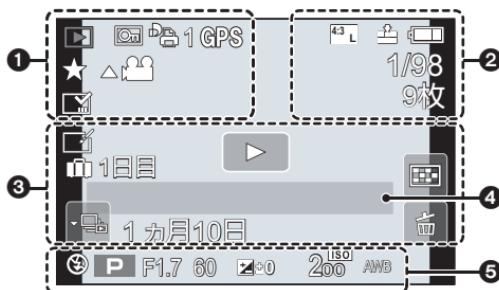
● モニターにのみ表示されます。

| | |
|-----|-----------------|
| Fn | タッチズーム |
| Fn | タッチシャッター |
| Fn | タッチ AE |
| Fn | ピーキング |
| Fn5 | Fn5(ファンクションボタン) |
| Fn6 | Fn6(ファンクションボタン) |
| Fn7 | Fn7(ファンクションボタン) |
| Fn8 | Fn8(ファンクションボタン) |
| Fn9 | Fn9(ファンクションボタン) |
| Fn | 色合い |
| Fn | ボケ味コントロール |
| Fn | 明るさ |
| Fn | ぼかし方(ジオラマ) |

| | |
|----|----------------------------|
| Fn | ワンポイントカラー |
| Fn | 光源の位置 |
| Fn | クリエイティブコントロール調整 |
| Fn | パノラマ撮影方向 |
| Fn | 画像効果(フィルター)選択 No Effect |
| Fn | 絞り値 |
| Fn | シャッタースピード |
| Fn | ISO感度 |
| Fn | マイクレベル設定 |

モニター/ファインダーの表示 (続き)

■ 再生時



①

| | |
|-----------|----------|
| | 再生モード |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | 再生モード |
| XXhXXmXXs | 再生経過時間※1 |

③

| | |
|--------|----------------|
| | クリアレタッチ済み表示 |
| | 情報取得中アイコン |
| | 再生(動画) |
| | トラベル経過日数 |
| | 連写グループ表示 |
| | インターバル撮影グループ表示 |
| | コマ撮りグループ表示 |
| | サイレントモード |
| 1カ月10日 | 月齢/年齢 |
| | マルチ再生 |
| | 消去 |

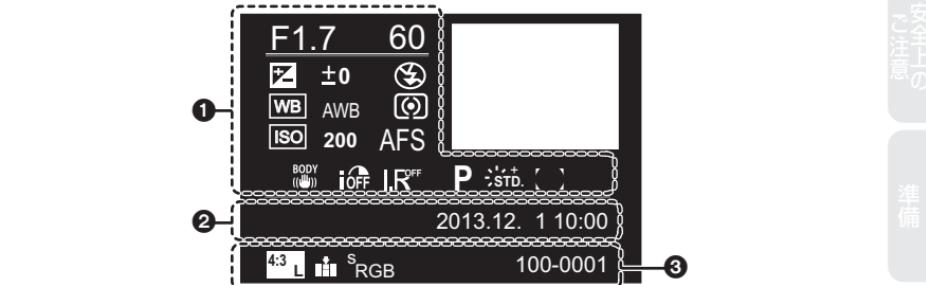
④

| | |
|--|--------|
| | 名前※2 |
| | 旅行先※2 |
| | タイトル※2 |

⑤

| | |
|--|--------|
| | 撮影情報※3 |
|--|--------|

詳細情報表示



①

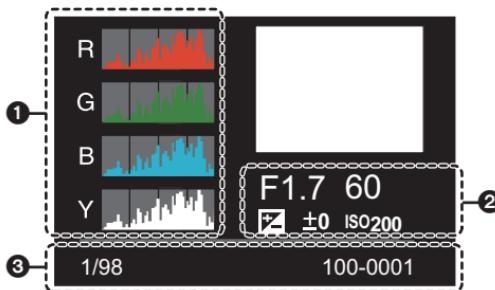
撮影情報

| | |
|-------------------|---------------------------|
| iOFF | iオレンジコントロール ^{※3} |
| HDR _{ON} | HDR ^{※4} |
| iR ^{OFF} | 超解像 |
| 【】 | シェーディング補正 ^{※4} |

②

撮影日時/ワールドタイム

ヒストグラム表示



①

ヒストグラム

②

撮影情報^{※3}

^{※1} hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

^{※2} [タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。

^{※3} [AVCHD]で撮影した動画には表示されません。

^{※4} 撮影した動画には表示されません。

安全上の
ご注意

準備

基本

撮影

見る

Wi-Fi・NFC

との接続

その他

メッセージ表示

確認/エラー内容を画面に文章で表示します。

ここではその主なメッセージを例として説明しています。

●「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)では、より多くのメッセージの例が記載されていますので、併せてご確認ください。

| メッセージ | 原因・対策 |
|---|---|
| 消去できない画像があります/ この画像は消去できません | DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P12)してください。 |
| メモリーカードエラー/ フォーマットしますか? | 本機では使用できないフォーマットです。 ●別のカードを入れてお試しください。 ●パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P12)し直してください。 データは消去されます。 |
| レンズが正しく装着されていません。 レンズ装着時はレンズ取り外し ボタンを押さないでください。 | ●レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに再度付け直してください。(P10) 再度電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 |
| メモリーカードエラー/ カードのパラメータが異常です/ このカードは使用できません | 本機に対応したカードをお使いください。(P12) ●SDメモリーカード(8 MB~2 GB) ●SDHCメモリーカード(4 GB~32 GB) ●SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB) |
| カードを入れ直してください/ 別のカードでお試しください | ●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。 |
| リードエラー/ライトエラー/ カードを確認してください | ●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。 |
| このバッテリーは使えません | ●パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。 |
| 送信できる画像がありません | 送信先の制限によって、送信できる画像が1つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。 |

メニュー一覧

撮影

画像横縦比、記録画素数などをお好みで設定できます。

- [フォトスタイル]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

| | |
|--------------|--|
| フォトスタイル | 撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。(P30) |
| 画像横縦比 | 画像の横縦比を設定します。(P33) |
| 記録画素数 | 記録画素数を設定します。(P34) |
| クオリティ | 画像を保存するときの圧縮率を設定します。(P34) |
| 測光モード | 明るさを測る測光方式を設定します。 |
| 連写速度 | 連写時の連写速度を設定します。 |
| オートブラケット | オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。(P40) |
| セルフタイマー | セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。(P41) |
| ハイライトシャドウ | 画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。(P32) |
| iD レンジコントロール | コントラストや露出を補正します。 |
| 超解像 | より輪郭がはっきりした、解像感のある写真を撮影します。 |
| HDR | 露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。 |
| 多重露出 | 1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。 |
| インターバル撮影 | 撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影することができます。 |
| コマ撮りアニメ | 写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。 |
| パノラマ設定 | パノラマ撮影の撮影方向と画像効果を設定します。 |
| 電子シャッター | 静かな環境での撮影時に、シャッター音を鳴らさずに撮影できます。 |
| シャッターディレイ | 手ブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと設定した時間が経過してからシャッターが切れます。 |
| フラッシュ設定 | 撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。(P45) |
| デジタル赤目補正 | フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。 |
| ISO感度上限設定 | ISO感度が [AUTO] または [ISO] のときに、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。 |

安全上の
ご注意

準備

基本

撮影

見る

Wi-Fi・NFC

パソコン
との接続

その他

メニュー一覧 (続き)

| | |
|------------|---|
| ISO感度ステップ | ISO感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。 |
| 拡張ISO感度 | ISO感度が最小[ISO125]まで設定できるようになります。 |
| 長秒ノイズ除去 | シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。 |
| シェーディング補正 | レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。 |
| EXテレコン(写真) | 記録画素数を[L]以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。 |
| デジタルズーム | 望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。 |
| 色空間 | 撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。 |
| 手ブレ補正 | 撮影時の手ブレを感じて、カメラが自動的に補正します。 |
| 個人認証 | 登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。 |
| プロフィール設定 | あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。 |

動画

記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

- [フォトスタイル]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
– 詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

| | |
|------------|---|
| 記録方式 | 記録する動画のファイル形式(AVCHD、MP4)を設定します。 |
| 画質設定 | 記録する動画の画質(サイズ、フレームレートなど)を設定します。 |
| 動画露出設定 | クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。 |
| 写真撮影 | 動画撮影中の写真の記録方法を設定します。 |
| AF連続動作 | ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。 |
| 動画ハイライト表示 | 白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。 |
| EXテレコン(動画) | 望遠効果を高めます。(P45) |
| フリッカーレンズ | 動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。 |
| タッチ静音操作 | タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。 |
| マイクレベル表示 | マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。 |
| マイクレベル設定 | 音声入力のレベルを4段階に調整します。 |
| 風音低減 | 音声記録時に風音がある場合に、風音を効果的に低減します。 |

カスタム

画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。

| | |
|---------------|--|
| カスタムセット登録 | 現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。 |
| サイレントモード | 操作音と発光の禁止を一括で設定します。 |
| AF/AEロック切換 | AF/AE ロックを行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。 |
| AF/AEロック維持 | ピントや露出を固定して撮影する際の[AF/AE LOCK]のボタン動作を設定します。 |
| シャッター半押しAF | シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。 |
| シャッター半押しレリーズ | シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。 |
| AFS/AFF/AFC | ピントの合わせ方を設定します。(P35) |
| クイックAF | シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。 |
| アイセンサーAF | アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。 |
| ピンポイントAF時間 | オートフォーカスマードを[]に設定時、シャッターを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。 |
| AF補助光 | 暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。 |
| ダイレクトフォーカス移動 | 撮影時にカーソルボタンを使って、AFエリアやMFアシストを移動します。 |
| フォーカス/レリーズ優先 | ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。 |
| AF+MF | 自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。 |
| MFアシスト | MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。 |
| MFガイド | 手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できるMFガイドを画面に表示します。 |
| ピーキング | 手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。 |
| ヒストグラム表示 | ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。 |
| ガイドライン表示 | 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。 |
| ハイライト表示 | オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。 |
| 常時プレビュー(Mモード) | マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。 |
| 露出メーター | 露出メーターを表示するかしないかを設定します。 |
| ダイヤル操作ガイド | ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。 |
| LVF表示スタイル | ファインダーの表示方法を設定します。 |
| モニター表示スタイル | モニターの表示方法を設定します。 |
| モニター撮影情報画面 | モニターの撮影情報画面を表示します。 |
| 記録枠表示 | 動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り替えます。 |

安全上の
ご注意

準備

基本

撮影

見る

Wi-Fi・NFC

パソコン
との接続

その他

メニュー一覧 (続き)

| | |
|------------------|--|
| 残枚数/残時間切換 | 記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り替えます。 |
| オートレビュー | 写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 |
| ファンクション Fn ボタン設定 | 特定のボタンやアイコンに、よく使う機能を割り当てることができます。(P16) |
| Q.MENU | クイックメニューの設定方法を切り替えます。(P16) |
| ダイヤル設定 | 後ダイヤルと前ダイヤルの操作方法を変更します。 |
| 動画ボタン | 動画ボタン動作の有効、無効を設定します。 |
| パワーズームレンズ | パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。 |
| アイセンサー | アイセンサーの感度を設定します。また、アイセンサーに目や物を近づけたときに、モニター表示からファインダー表示に自動的に切り換えるか、切り換えないかを設定します。 |
| タッチ設定 | タッチ操作の有効、無効を設定します。 |
| タッチ再生送り速度 | タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。 |
| メニューガイド | モードダイヤルを  /  に切り換えたときに表示される画面を設定します。 |
| レンズ無しレリーズ | 本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。 |

セットアップ

時計の設定や電子音の切り替えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。

| | |
|--------------|--|
| 時計設定 | 日付や時刻を変更するときに設定します。 |
| ワールドタイム | お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。 |
| トラベル日付 | 旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 |
| Wi-Fi | Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。 |
| 電子音 | 電子音や電子シャッター音の音量を設定します。 |
| スピーカー音量 | スピーカーの音量を7段階に調整します。 |
| モニター調整/LVF調整 | モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。 |
| モニター輝度 | 周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。 |
| エコモード | 本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。 |
| USBモード | USB接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。 |
| 映像出力 | テレビなどとの接続のしかたを設定します。 |
| ピエラリンク | ピエラリンク対応機器と自動的に連動させます。 |
| 3Dテレビ出力 | 3D画像の出力方法を設定します。 |
| メニュー位置メモリー | 最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。 |
| メニュー背景色 | メニュー画面の背景色を設定します。 |

| | |
|---------------|---|
| メニューインフォメーション | メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。 |
| バージョン表示 | 本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。 |
| 露出補正リセット | 撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正量をリセットすることができます。 |
| セルフタイマー自動解除 | 電源スイッチを[OFF]にしたときに、セルフタイマーを解除する、しないを設定します。 |
| 番号リセット | 画像のファイル番号を0001に戻します。 |
| 設定リセット | 設定をお買い上げ時の状態に戻します。 |
| Wi-Fi 設定リセット | Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く) |
| ピクセルリフレッシュ | 撮像素子と画像処理の最適化を行います。 |
| センサークリーニング | 撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。 |
| フォーマット | カードをフォーマット(初期化)します。(P12) |

再生

画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

| | |
|------------|--|
| 2D/3D 切換 | 3D 画像の再生方法を切り替えます。 |
| スライドショー | 画像の種類などを選んで、順番に再生します。 |
| 再生モード | 再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。 |
| 位置情報記録 | スマートフォン/タブレットで取得した位置情報(緯度・経度)を本機に送信して、画像に位置情報を書き込むことができます。 |
| クリアレタッチ | 撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。(P47) |
| タイトル入力 | 撮影した画像に文字(コメント)を入力します。 |
| 文字焼き込み | 撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。 |
| 動画分割 | 撮影した動画を 2 つに分割します。 |
| インターバル動画作成 | インターバル撮影グループから動画を作成します。 |
| コマ撮りアニメ作成 | コマ撮りグループから動画を作成します。 |
| リサイズ(縮小) | 画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。 |
| トリミング(切抜き) | 撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。 |
| 画像回転 | 画像を手動で 90° ずつ回転させます。 |
| 縦位置自動回転 | 本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。 |
| お気に入り | 画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。 |
| プリント設定 | プリントする画像や枚数などを設定します。 |
| プロジェクト | 画像を誤って消去するがないように保護します。 |
| 認証情報編集 | 個人認証に関する情報の解除や入れ替えをします。 |
| 消去確認画面 | 画像消去時に表示される確認画面の選択肢 [はい]/[いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定します。 |

Q&A 故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P72~75)をお試しください。

それでも解決できない場合は、セットアップメニューの【設定リセット】(P71)を行うと症状が改善する場合があります。

これらの処置をしても直らないときは、「保証とアフターサービス」(P91)をお読みください。

●「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)では、より多くのQ&Aが記載されていますので、併せてご確認ください。

| Q(質問) | A(回答) |
|---------------------------------|--|
| 電源スイッチを[ON]にしても動作しない。またはすぐに切れる。 | <ul style="list-style-type: none">●バッテリーが消耗しています。充電してください。●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 →[エコモード]を使うなどして、こまめに電源を切ってください。 |
| ピントが合わない。 | <ul style="list-style-type: none">●ピントが合う範囲から外れています。●手ブレや被写体ブレしています。●[フォーカス/レリーズ優先]が[レリーズ]になっていませんか？この場合、フォーカスマードレバーを[AF]に合わせていても、ピントが合っていないことがあります。●[シャッターハーフ押しAF]が[OFF]になっていませんか？●不適切な状態でAFロック(P37)がかかっていないかもしれません？ |
| 撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。 | <ul style="list-style-type: none">●特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。 →本機を両手でしっかり持って撮影してください。→遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー(P41)を使って撮影してください。 |
| 蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。 | <ul style="list-style-type: none">●これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。●動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合、[フリッカーレンズ]を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。 <p>シャッタースピードは[1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]から選択できます。クリエイティブ動画モードでも手動でシャッタースピードを設定できます。</p>  |
| 撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。 | <ul style="list-style-type: none">●蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。●極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。 |

| Q(質問) | A(回答) |
|-----------------------------------|---|
| 動画が撮影できない。 | <ul style="list-style-type: none"> 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。 |
| 一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。 | <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。 |
| フラッシュが発光しない。 | <ul style="list-style-type: none"> [電子シャッター]が[ON]になっていませんか? →電子シャッター使用時はフラッシュは発光しません。 [サイレントモード]が[ON]になっていませんか? →サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。 |
| [LVF]ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。 | <ul style="list-style-type: none"> パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面はモニター表示のみになります。 |
| 再生できない。 撮影した画像がない。 | <ul style="list-style-type: none"> [□]ボタンを押しましたか? カードは入っていますか? カードに再生できる画像はありますか? パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか?この場合、本機で再生することはできません。 →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。 [再生モード]を設定していませんか? →[通常再生]に設定してください。 |
| フォルダ・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。 | <ul style="list-style-type: none"> 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか? 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか? →このような画像を消去するには、フォーマット(P12)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください) |
| 画面に「サムネイル表示」と表示される。 | <ul style="list-style-type: none"> 他機で撮影された写真ではありませんか?その場合、画質が劣化して表示されることがあります。 |
| 本機で撮影した動画が他機で再生できない。 | <ul style="list-style-type: none"> [AVCHD]および[MP4]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。 |

Q&A 故障かな？と思ったら（続き）

| Q(質問) | A(回答) |
|---|--|
| <p>無線LANに接続できない。 電波が途切れる。</p> | <ul style="list-style-type: none">● 無線LANネットワークの通信圏内でご使用ください。● 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティーの設定方法が異なります。 → 無線アクセスポイントの説明書をご確認ください。● 電波が途切れる場合は、無線アクセスポイントの置き場所や角度を変えると電波状態が良くなる場合があります。● 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知設定の場合、自動接続できない場合があります。 → 無線アクセスポイントのネットワーク SSID の非通知設定を解除してください。● 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？ → 同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。● 5 GHz/2.4 GHz 切り替え式の無線アクセスポイントが 5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか？ → 5 GHz/2.4 GHz 同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。● バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます) |
| <p>無線アクセスポイント が表示されない。 または接続できない。</p> | <ul style="list-style-type: none">● 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。● 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。 → 無線アクセスポイントの近くで接続してください。● 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。 → 無線アクセスポイントの設定内容をご確認ください。 本機が対応している無線チャンネルは 1～11 チャンネルです。 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを 1～11 チャンネルの中から選び、設定してください。● 電波状況により無線アクセスポイントが見つからない場合があります。 → [手動接続] を行ってください。(P55)● 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されていますか？ → 非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワーク SSID を入力して設定してください。(P55)● 以下をお試しください。<ul style="list-style-type: none">– 本機と無線アクセスポイントを近づける– 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除く– 本機の向きを変える |

| Q(質問) | A(回答) |
|--------------------|---|
| パソコンに画像を送信できない。 | <ul style="list-style-type: none"> OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。 |
| 送信できなかった画像がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 画像のサイズが大きすぎませんか? →[動画分割]で動画を分割してください。 →[送信サイズ]で写真のサイズを小さくしてください。 Webサービスの容量または枚数がいっぱいになっています。 →「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Webサービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。 |
| テレビで動画の再生ができない。 | <ul style="list-style-type: none"> カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか? →AVケーブル(別売)またはHDMIミニケーブル(別売)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。 |
| ビエラリンク(HDMI)が働かない。 | <ul style="list-style-type: none"> HDMIミニケーブル(別売)で正しく接続されていますか? →HDMIミニケーブル(別売)が奥まで確実に入っていることを確認してください。 →本機の[■]ボタンを押してください。 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか? →テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) →接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 →本機の電源を入れ直してください。 →テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください) |
| レンズ部から音がする。 | <ul style="list-style-type: none"> 電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。 ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、モニターの画像が急激に変わることがあります。撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。 |
| 本機が熱くなる。 | <ul style="list-style-type: none"> ご使用中、本機表面やモニターの裏側が多少熱くなることがあります。性能・品質には問題ありません。 |
| 時計が合っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P13) |

使用上のお願い

■ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター(別売: DMW-AC8)、DCカプラー(別売: DMW-DCC11)を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

■ お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあります。撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

ダストリダクション機能について

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になる場合はセットアップメニューの[センサークリーニング]を行ってください。

撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、以下のことを必ずお守りください。

- プロワー(市販)で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけてください。
- プロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- プロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、プロワーが撮像素子に触ると傷がつきます。
- プロワー以外のものは使用しないでください。
- プロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ ファインダーのアイカップのお手入れについて

- アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

バッテリーについて

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参考ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI, HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DAVI Control™は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Android および Google PlayはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

AVCHD™
Progressive


PictBridge
USB LAN WLAN
✓ - ✓

- "Wi-Fi CERTIFIED" ロゴは、"Wi-Fi Alliance" の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、"Wi-Fi Alliance" の商標です。
- "Wi-Fi"、"Wi-Fi Protected Setup"、"Wi-Fi Direct"、"WPA"、"WPA2" は "Wi-Fi Alliance" の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
-  は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- おサイフケータイ®は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

上記(3)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報]で表示されるライセンス条件をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使用しないでください。
- 当社製 AV ケーブル(別売:DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製 HDMI ミニケーブル(別売:RP-CHEM15A, RP-CHEM20A, RP-CHEM30A)をお使いください。
- 当社製シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、Wi-Fiメニューの[認証情報]で確認できます。

下記「認証情報の表示方法」をご覧ください。

2.4DS/OF4

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。



■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

- 1 セットアップメニューの [Wi-Fi] を選ぶ
- 2 Wi-Fiメニューから [Wi-Fi 設定] を選ぶ
- 3 ▲/▼ で [認証情報] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

| | |
|------|--|
| 電源 | DC 8.4 V |
| 消費電力 | 2.5 W (液晶モニター撮影時) [交換レンズ(H-H020A)装着時] 1.8 W (液晶モニター再生時) [交換レンズ(H-H020A)装着時] |

| | |
|-------------------|---|
| カメラ有効画素数 | 1600万画素 |
| 撮像素子 | 4/3型 Live MOSセンサー 総画素数 1684 万画素、 原色カラーフィルター |
| デジタルズーム | 最大4倍 |
| EX テレコン | 写真時：最大2倍(記録画素数[S](4 M)、画像横縦比[4:3]選択時) 動画時：2.4倍/3.6倍/4.8倍 |
| フォーカス | オートフォーカス/マニュアルフォーカス 顔認識/追尾AF/23点/1点/ピンポイント(タッチフォーカスエリア選択可能) |
| シャッターシステム | フォーカルプレーンシャッター |
| 連写撮影：連写速度 | メカシャッター：5コマ/秒(高速)、4コマ/秒(中速)、2コマ/秒(低速) 電子シャッター：40コマ/秒(超高速)、10コマ/秒(高速)、 4コマ/秒(中速)、2コマ/秒(低速) 最大9コマ(RAWファイルあり) カードの空き容量に依存(RAWファイルなし) |
| 連写コマ数 | |
| ISO感度 (標準出力感度) | オート/インテリジェントISO/125~200/400/800/1600/ 3200/6400/12800/25600 (1/3 EVステップに変更可能) ※ [拡張ISO感度] を設定時のみ |
| 最低被写体照度 | 約5lx(i ローライトモード時、シャッタースピード1/30秒) [交換レンズ(H-H020A)装着時] |
| シャッタースピード | B(バルブ) (最大約120秒間)、60~1/8000秒 動画撮影中の写真記録 動画優先時：1/25~1/16000秒 写真優先時：B(バルブ) (最大約120秒間)、60~1/8000秒 |
| 測光範囲 | EV 0~EV 18 |
| ホワイトバランス | オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/フラッシュ/ ホワイトセット1/ホワイトセット2/色温度設定 |
| 露出 | プログラムAE(P)、絞り優先AE(A)、シャッター優先AE(S)、 マニュアル露出(M)、オート 露出補正(1/3 EVステップ、-5EV~+5EV) |
| 測光方式 | マルチ測光/中央重点測光/スポット測光 |

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

との接続

その他

仕様（続き）

| | |
|-------------|--|
| モニター | 3.0型 TFT 液晶（3:2）（約104万ドット）（視野率約100%） タッチパネル |
| ファインダー | カラー液晶ライブビューファインダー（16:9）（約276万ドット） (視野率約100%) (視度調整付き -4~+3diopter) |
| フラッシュ | 内蔵ポップアップ式 GN7.0相当 (ISO200・m) [GN5.0相当 (ISO100・m)] 撮影可能範囲：約50 cm～約 11.7 m [交換レンズ (H-H020A) 装着、[ISO AUTO]設定時] オート/赤目軽減オート/強制発光/赤目軽減強制発光/ スローシングクロ/赤目軽減スローシングクロ/発光禁止 |
| フラッシュ同調速度 | 1/320 秒以下（外部フラッシュ使用時：1/250 秒以下） |
| マイク | ステレオ |
| スピーカー | モノラル |
| 記録メディア | SDメモリーカード/SDHCメモリーカード [※] /SDXCメモリーカード [※] ※ UHS-I 対応 |
| 記録画素数 写真 | 画像横縦比[4:3]設定時 4592×3448画素/3232×2424画素/2272×1704画素 画像横縦比[3:2]設定時 4592×3064画素/3232×2160画素/2272×1520画素 画像横縦比[16:9]設定時 4592×2584画素/3232×1824画素/1920×1080画素 画像横縦比[1:1]設定時 3424×3424画素/2416×2416画素/1712×1712画素 |
| 画質設定 動画 | AVCHD 1920×1080/60p (28 Mbps) 1920×1080/60i (17 Mbps) 1920×1080/60i [※] (24 Mbps) 1920×1080/24p (24 Mbps) 1280×720/60p (17 Mbps) ※イメージセンサーからの出力は 30 コマ/秒です MP4 1920×1080/60p (28 Mbps) 1920×1080/30p (20 Mbps) 1280×720/30p (10 Mbps) 640×480/30p (4 Mbps) |
| クオリティ（圧縮率） | RAW/RAW+ファイン/RAW+スタンダード/ファイン/ スタンダード/MPO+ファイン/MPO+スタンダード |

| | |
|--|---|
| 記録画像ファイル形式 写真 動画 | RAW/JPEG (DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF 対応) /MPO AVCHD Progressive/AVCHD/MP4 |
| 音声圧縮方式 | AVCHD : Dolby® Digital (2ch) MP4 : AAC (2ch) |
| インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ | USB 2.0 (High Speed) NTSC コンポジット オーディオオンライン出力 (モノラル) |
| 端子 REMOTE AV OUT/DIGITAL HDMI | Ø2.5 mm ジャック 専用ジャック (8pin) miniHDMI Cタイプ |
| 寸法 | 約幅 122.6 mm×高さ 70.7 mm×奥行き 54.6 mm (突起部除く) |
| 質量 | 約402 g (カード、バッテリー含む) 約360 g (本体) 約489 g [カード、交換レンズ (H-H020A)、バッテリー含む] |
| 推奨使用温度 | 0 ℃~40 ℃ |
| 許容相対湿度 | 10%RH~80%RH |
| 言語切り替え | なし (日本語のみ) |

ワイヤレス転送部

| | |
|--------------------|---------------------------------|
| 準拠規格 | IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル) |
| 使用周波数範囲 (中心周波数) | 2412 MHz~2462 MHz (1~11ch) |
| 暗号化方式 | Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™ |
| アクセス方式 | インフラストラクチャーモード |

NFC 部

| | |
|------|--------------|
| 準拠規格 | JIS X 6319-4 |
|------|--------------|

専用バッテリーチャージャー: DE-A99A

| | |
|------|----------------------|
| 定格入力 | 100 V~240 V 50/60 Hz |
| 入力容量 | 19 VA |
| 定格出力 | DC 8.4 V 0.43 A |

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLG10

| | |
|-------|----------------|
| 電圧/容量 | 7.2 V/1025 mAh |
|-------|----------------|

仕様（続き）

| | |
|------------|--|
| 交換レンズ | H-H020A (LUMIX G 20 mm/F1.7 II ASPH.) |
| 焦点距離 | f=20 mm (35 mm フィルムカメラ換算：40 mm) |
| 絞り形式 | 7枚羽根 円形虹彩絞り |
| 開放絞り | F1.7 |
| 最小絞り値 | F16 |
| レンズ構成 | 5群 7枚（非球面レンズ2枚） |
| 撮影範囲 | 0.2 m ~∞（撮像面から） |
| 最大撮影倍率 | 0.13x（35 mm フィルムカメラ換算：0.25x） |
| 手ブレ補正 | なし |
| O.I.S.スイッチ | なし |
| マウント | マイクロフォーサーズマウント |
| 画角 | 57° |
| フィルター径 | 46 mm |
| 最大径 | 約63 mm |
| 全長 | 約25.5 mm (レンズ先端からレンズマウント基準面まで) |
| 質量 | 約87 g |

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

安全上
のご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

との接続

その他



危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない
内容です。



実行しなければな
らない内容です。



気をつけていた
だく内容です。

危険



バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない
(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなど)
で)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(+)(-)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。



バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
(※以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーは、本機専用のチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、
けがをする原因になります。

⚠ 警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・電源を切り、販売店にご相談ください。



チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流 100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

接触禁止

- 本体やチャージャーには、金属部があります。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する



運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。



メモリーカードやホットシューカバーは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。



ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

長時間ご使用の場合は、三脚などを使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

⚠ 警告



航空機内では電源を切る*

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

*やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意



フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない
誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。



フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

!**注意**

3Dの撮影について



3D交換レンズを付けて最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時の最短撮像距離は0.6 mです。



3D交換レンズを付けて撮影の際、本機の揺れに注意する

車に乗車中や歩行中などに撮影したブレた画像は、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 三脚の使用をおすすめします。

3Dの視聴について



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。



■ 近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正がねの装着などにより、視力を適切に矯正する

■ 3D撮影画像の視聴中にはっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。



3D撮影画像を視聴する場合は、30~60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5~6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

安全上の
ご注意

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

パソコン
との接続

その他

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな?と思ったら」(66 ページと 72 ~ 75 ページ、ならびに取扱説明書 活用ガイド(PDF形式))でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

| | |
|--------|---|
| ●製品名 | デジタルカメラ/レンズキット/ボディ |
| ●品番 | <input type="checkbox"/> DMC-GX7C <input type="checkbox"/> DMC-GX7 <input checked="" type="checkbox"/> お買い上げの品番に記入してください。 |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このデジタルカメラ/レンズキット/ボディの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

保証とアフターサービス(よくお読みください) (続き)

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は



●宅配修理サービスのご案内 (Web サイトからもお申し込みいただけます)



■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。 (このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用的デジタルカメラ/レンズキット/ボディの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体やチャージャーが破損した
- ・その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントからチャージャーを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出して
おります。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかげください。

- ・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

| | | | |
|-------|-----|-----------------|----------------------|
| 北海道地区 | 札幌 | ☎ (011)894-1255 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 |
| 東北地区 | 宮城 | ☎ (022)387-1117 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 |
| | 山形 | ☎ (023)641-8100 | 山形市平清水1丁目1-75 |
| | 川口 | ☎ (048)297-7820 | 川口市戸塚2丁目23-20 |
| | 千葉 | ☎ (043)208-6034 | 千葉市中央区末広5丁目9-5 |
| 首都圏地区 | 東京 | ☎ (03)5303-6901 | 東京都杉並区本天沼3丁目43-16 |
| | 秋葉原 | ☎ (03)3251-4616 | 千代田区外神田1丁目8-1 第三電波ビル |
| | 立川 | ☎ (042)537-5611 | 立川市幸町4丁目3-1 |
| | 神奈川 | ☎ (045)828-2180 | 横浜市戸塚区品濃町561-4 |
| 中部地区 | 愛知 | ☎ (052)819-0225 | 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 |
| | 京都 | ☎ (075)646-2123 | 京都市南区上鳥羽中河原3番地 |
| 近畿地区 | 大阪 | ☎ (06)7730-8888 | 門真市松生町1-15 |
| | 茨木 | ☎ (072)624-8501 | 茨木市松下町1番1号 |
| | 兵庫 | ☎ (078)796-3140 | 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 |
| 中国地区 | 松江 | ☎ (0852)23-1128 | 松江市平成町182番地14 |
| 四国地区 | 岡山 | ☎ (086)242-6236 | 岡山市北区野田3丁目20-14 |
| 九州地区 | 香川 | ☎ (087)874-3110 | 高松市国分寺町国分359番地3 |
| 沖縄地区 | 福岡 | ☎ (092)593-8002 | 春日市春日公園3丁目48 |
| | 沖縄 | ☎ (098)877-1207 | 浦添市城間4丁目23-11 |

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

0513

さらに詳しい説明は

本機操作の詳細については、CD-ROM(付属)の「取扱説明書 活用ガイド」に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。

■ Windowsの場合

- 1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる
- 2 インストールメニューが表示されたら、[取扱説明書]をクリックする
- 3 [日本語]が選ばれている状態で、[取扱説明書]をクリックしてコピーする
- 4 デスクトップの[取扱説明書]のショートカットアイコンをダブルクリックして開く

■ 取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)が開けないときは

取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

お使いのパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM(付属)を入れ、[Adobe Reader]をクリックしたあと、画面のメッセージに従って進み、インストールしてください。
(対応OS: Windows XP SP3/Windows Vista SP2/Windows 7/Windows 8)

- Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードすることもできます。

<http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>

■ 取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)をアンインストールするには

"Program Files\Panasonic\Lumix" フォルダー内のPDFファイルを削除してください。

■ Macの場合

- 1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる
- 2 CD-ROMの「Manual」フォルダーを開く
 - 「Manual」フォルダーがもう一度表示されます。
- 3 表示された「Manual」フォルダーを開き、言語フォルダーの中の PDF ファイルをコピーする
- 4 PDFファイルをダブルクリックして開く

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- スマートフォン/タブレットでも取扱説明書をご覧いただけます。詳しくは、お使いのパソコンなどで、上記のサポートサイトをお読みください。

CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。

ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

| | |
|----------------|---|
| ご登録特典 1 | 家電情報をまとめて登録／管理 購入年月や製造番号などをMy家電リストに保存できます。 |
| ご登録特典 2 | 商品情報をスムーズに入手 Q&A や取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。 |
| ご登録特典 3 | エンジョイポイントがたまる たまつたポイントでプレゼントに応募できます。 |

ご登録手順 :

下記のどちらかを選んでください。

■ パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

<http://club.panasonic.jp/>

■ 携帯電話からの登録方法

① 二次元バーコードでアクセス



② 次のアドレスにアクセスしてください。

<http://mobile.club.panasonic.jp/>

※ 携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

お問い合わせ先 :

CLUB Panasonic 事務局 (club-info @ panasonic.jp)

安全上の
ご注意

準備

基本

撮る

見る

Wi-Fi・NFC

との接続

その他

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯



※このサービスはWEB限定のサービスです。

■使いかた：
お手入れ・修理に
関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://panasonic.co.jp/cs/>

パナソニック LUMIX(ルミックス) ご相談窓口 365日
受付9時～20時

電話 フリー ダイヤル  0120-878-638

携帯・PHS OK

パナは ルミックスバチ！

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号をご利用
いただけない場合 06-6907-1187 ■FAX
フリーダイヤル  0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■宅配修理サービスのご案内(Webサイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

●お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。



QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2013